

HOSEI University

A GUIDE FOR FRESHERS 2016

法政大学 学習支援ハンドブック 2016

HOSEI UNIVERSITY

MAKING THE MOST OF YOUR UNIVERSITY EDUCATION 2016

A GUIDE FOR FRESHERS

H



HOSEI University
HOSEI UNIVERSITY
MAKING THE MOST OF YOUR UNIVERSITY EDUCATION 2016
A GUIDE FOR FRESHERS

2016年度新入生のあなたへ

ご入学おめでとうございます。

この冊子は、法政大学に入学したみなさんが高校までの学びのスタイルから脱皮して、
大学生らしい主体的な学びの基礎を作るための手助けをすることを目的に作成されたものです。

大学生になった今、教えられたこと、書いてあることを覚えるだけ、

言われたことをするだけなどという受け身な姿勢から、一歩踏みだしましょう。

そして大学生にふさわしい学びのスタイルを身につけませんか。

もちろんこれまでの学問の蓄積をしっかりとふまえることは大切です。

しかしそのうえで研究の最前線に立って批判的に考え、課題を見つけ、その答えを模索し、

それをかたちにしてゆくのが大学生なのです。

そのためにどんな力が必要になるでしょうか。

それぞれの研究分野についての講義を理解する力、

講義以外の発展的な知識が書かれた文献を探し、読み解く力、

あらためて考え直すために必要な資料を集める力、そして考えたことを発表する力や文章にまとめる力。

こうした力を4年間の学びを通してじっくりと養ってほしい。

そんな期待をこめて、今、法政大学の新入生としてスタートラインに立つあなたのために、

この冊子をお贈りします。



INDEX

法政大学へようこそ

02

法政大学へようこそ

02

校歌を知ろう!

06

法政大学お宝コレクション

08

法政大学図書館

08

野上記念法政大学能楽研究所

10

大原社会問題研究所

12

沖縄文化研究所

14

大学での学びとは

16

WHAT IS STUDYING AT A UNIVERSITY

時間割をつくる

16

履修や成績などにかかわる各種システムを利用しよう!

18

授業支援システム

20

学習ポートフォリオのすすめ

22

ノートの取り方

24

ゼミ(演習・卒業研究)

27

グループ学習に最適な学内施設を活用しよう!

31

キーボードに慣れよう!

32

成績評価・授業改善

34

GRADE AND COURSE EVALUATION

成績評価を受ける -GPAとは-

34

授業改善アンケート

38

レポートの書き方

40

HOW TO WRITE REPORTS

レポートを書く

40

レポート課題を吟味しよう!

41

アイデアのまとめ方 -レポート執筆の下準備-

42

レポートの構成

44

論証するには?

45

アカデミックライティングの基礎 -パラグラフとは-

47

先行研究の適切な引用と自論との区別

48

接続表現を適切に使って論理的に文章を組み立てよう

49

レポートの文章術

50

レポート書式の例

52

情報収集から考察へ

54

FROM INFORMATION GATHERING TO CONCLUSIONS

図書館を使いこなそう!

55

インターネットで情報収集-信頼できるサイトの見分け方-

58

その他

62

OTHERS

学生生活支援Q&A

62

あなたも挑戦してみよう! 法政大学のコンテスト・奨励制度

65

PDF版をダウンロードできます。

<http://www.hoseikyoiku.jp/fd/handbook/index.html>

法政大学へようこそ

WELCOME TO HOSEI UNIVERSITY

法政大学へようこそ

これからあなたも法政大学コミュニティの一員です。15学部と大学院に在学生約3万人、教職員も千人超、卒業生累計46万を超える巨大な法政大学。あなたは、これほど多くの人々と「法政大学」というつながりで仲間になるのです。

法政大学にどのようなイメージを抱いていますか?リベラルな学校?スポーツの法政?それとも、つねにチャレンジし続ける大学、でしょうか?

法政大学では、これまで培ってきた大学としてのアイデンティティをふまえ、未来の社会に対して果たすべき役割について、右のような「法政大学憲章」を掲げています。

「自由を生き抜く」とはどのようなことでしょうか?また「実践知」とは何でしょう、実学とは違うのでしょうか?

その答えは、法政大学のこれまでのあゆみのなかにあります。

無名の若者たちによる設立

法政大学の設立は1880(明治13)年、自由民権運動の高揚期にあたります。権利の意識に目覚め、法律の知識を求めた人びとのために、のちに五大法律学校と呼ばれる私立法律学校が続々と作られます。その先駆けが、法律の実務と教育と二つの機能を併せ持つ本学の前身・東京法学社です。この創設を担った、金丸鐵は28歳、伊藤修は25歳、薩埵正邦は24歳と、当時、大変若く、しかもいずれも私塾や個人教授などで法律を学んだだけの若者たちでした。これは、以後、続々と作られる他の私

自由を生き抜く実践知

法政大学は、近代社会の黎明期にあって、権利の意識にめざめ、法律の知識を求める多くの市井の人びとのために、無名の若者たちによって設立されました。

校歌に謳うよき師よき友が集い、人びとの権利を重んじ、多様性を認めあう「自由な学風」と、なにもにもとられることなく公正な社会の実現をめざす「進取の気象」とを、育んできました。

建学以来のこの精神を受け継ぎ、地球社会の課題解決に貢献することこそが、本学の使命です。

その使命を全うすべく、多様な視点と先見性をそなえた研究に取り組むとともに、社会や人のために、真に自由な思考と行動を貫きとおす自立した市民を輩出します。

地域から世界まで、あらゆる立場の人びとへの共感に基づく健全な批判精神をもち、社会の課題解決につながる「実践知」を創出しつづけ、世界のどこでも生き抜く力を有するあまたの卒業生たちと力を合わせて、法政大学は持続可能な社会の未来に貢献します。

立法律学校の創立者が、有名な人物や官立学校の出身の、いわばエリートであったのと対照的です。このような無名の若者たちの情熱によって、自由民権運動の気運のなかで創設された法律学校であったこと——これが本学の大きな特徴の一つです。

人びとの権利を重んじ、多様性を認めあう「自由な学風」

本学の前身、東京法学社は、設立の翌年には教育機能を独立させて東京法学校となります。その中心となった薩埵正邦は、政府の法律顧問として活躍していたフランス人法学者、ボアソナード博士に学んだ人物でした。博士は、約10年もの間、無償で授業を行うなど、教育の中心となって熱心にこの学校を支えてくれました。それによって、「ボアソナードの法学校」と呼ばれるほどであったことが、本学の原点となっています。その教育の根幹にあったのは、フランス法の基底をなす、権利をもつ存在としての個人の尊重を思想的基盤にすえる自然法思想です。本学のもう一つのルーツである東京仏学校(1886年設立)と合併し、1889年に和仏法律学校となってからも継承されたこの思想が教え継がれた本学には、個人の権利を尊重する気風、そして個々の多様性を認めあおうとする自由な雰囲気が溢れていたことでしょう。

1921年に現在の市ヶ谷校地に移転。法文学部と経済学部、予科を擁する総合大学「法政大学」として、ますますの発展をみます。この時代、本学には、夏目漱石の門下の俊英たち——のちに総長になった英文学者の野上豊一郎、作家の内田百閒や森田草平、倫理学者の和辻哲郎ら、時代をリードするそうそうたる知性が集っていました。そこで講じられた、漱石ゆずりの人間



風俗画報臨時増刊「新選東京名所図会」第19編(1899年)掲載「麹町区総図其二」(石塚空翠画)
※右上「牛込停車場」(今の飯田橋駅)の下に「和仏法律学校」が見える。

への共感に基づく社会や時代に対する自由な批判精神が、なにもにもとられることなく公正な社会の実現をめざす、本学のリベラルな校風の基礎をなしていきます。

「よき師よき友、集い結べり」と、教員と学生が尊重しあう良好な関係、変化と挑戦を恐れない「進取の気象」を謳いあげる佐藤春夫の作詞による校歌が、学生による制定運動の結果として誕生したのは1931年のことでした。

法政大学の礎を作った人物たち



薩埵 正邦

(Masakuni Satta / 1856 - 1897)

京都に生まれ、幼くして両親を失いつつも京都仏学校で学んだフランス語を生かして、ボアソナード博士の個人的な教授によって法学の知識を身につけます。東京法学校の主幹としてその発展に情熱を傾けました。市ヶ谷キャンパス外濠校舎の「薩埵ホール」は彼を記念して名づけられたものです。



ギュスターヴ・ボアソナード

(Gustave Émile Boissnadé de Fontarabie / 1825 - 1910)

フランスで法学の博士号を取得しパリ大学などで教えた後、日本政府の法律顧問として招かれ、教鞭を執りつつ種々の政策への助言や法典編纂に尽力しました。その革新的な民法草案が論争を呼んだことは有名です。市ヶ谷キャンパスのボアソナード・タワーの1階と2階スカイホールにはその胸像が置かれています。

社会や人のために、真に自由な思考と行動を貫きとおす自立した市民

戦後、1950年代には工学部、社会学部、経営学部を次々と設置するなど、法政大学は大きな発展期を迎えます。この時期に総長を務めて本学を飛躍的な発展に導いた大内兵衛は、「われらの願い」として、「わが国の独立を负担するに足る独立自由な人格の形成」、「学問を通じた世界のヒューマンティの昂揚に役立つ精神の振作」、「日本人の社会生活の向上発展に寄与する人材の育成」の三箇条を目標として掲げました。ここには、これに先立つ戦時下において、多くの人が自由な思考を停止して軍国主義の暴走を止めることができなかったことにたいする痛切な反省が込められていたことでしょう。世界のあらゆる人びとへの共感に支えられた平和な未来を見すえ、人と社会のために自由に思考し、たとえわずかなことであっても必ず貢献しようと行動する人を育てたいという大内の願いは、今日にまで本学に受け継がれています。

「自由」を貫くことは、責任ある市民としてこの社会を考え、人のために行動しようとするとき、時にそれほど容易なことではないかもしれません。しかし、そこでぶれることなく行動し通すこと——それが法政大学人として「自由を生き抜く」ということなのです。

社会の課題解決につながる「実践知」

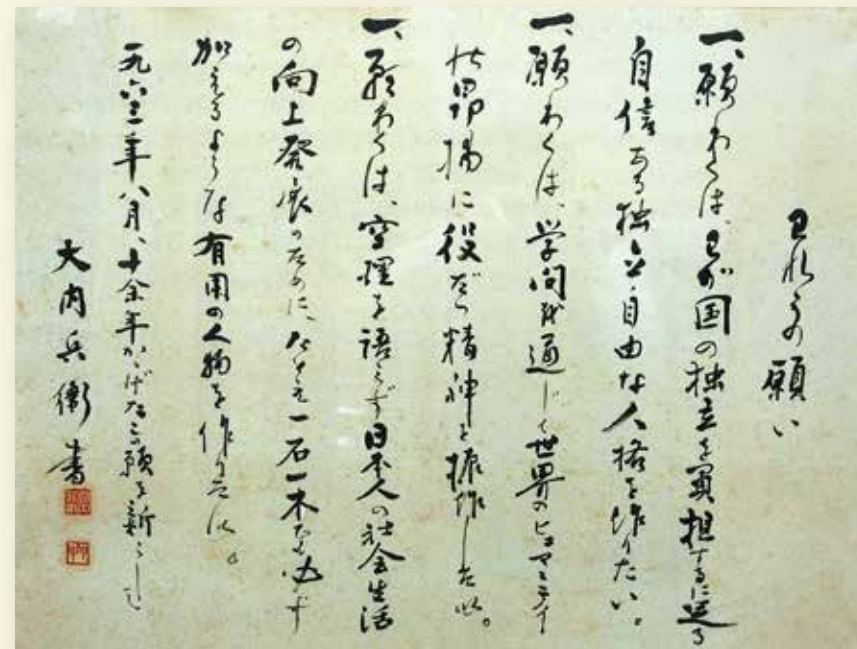
戦後占領期に総長に就任した大内が掲げた、世界を視野に、社会の課題解決をめざすその精神は、今日の法政大学の支えとなっています。それがまさに「実践知」の母体です。その「実践知」とは、どのような「知」をいうのでしょうか。

それは、すぐ役立つことをめざす実学とは厳密に区別され「共通の善」といわれる社会的な価値を実現することをめざすものです。どこの誰にとっても、あらゆる意味で生きやすい社会をつくる、そのためにできることをそれぞれの現場で、必要な知識や情報を十分に集めて柔軟に考え抜いて適切な判断をくだし、実践に移していける知性、それが「実践知」なのです。

持続可能な社会の未来に貢献

敗戦後の日本社会の発展を期することが大内時代の課題でした。その精神を今日の世界にあてはめて考えるならば、何にあたるでしょうか。文部科学省からもスーパーグローバル大学の指定を受けている法政大学が、地球規模で今の課題を考えると、あらゆる国や地域の人びとが直面する、持続可能性の問題に取り組むことになります。それはたんに気候や自然環境のことだけではなく、そのなかで国や地域を越えて多様な文化背景をもった人びとが互いを認め尊重し合いながらともに生きていくために「実践知」を生み出してゆくことです。

そのことは、法政大学の一員となったあなた方一人ひとりとともに、本学がめざしてゆく課題なのです。



「われらの願い」 大内兵衛

- 一、願わくは、わが国の独立を负担するに足る自信ある独立自由な人格を作りたい。
- 一、願わくは、学問を通じて世界のヒューマンティの昂揚に役立つ精神を振作したい。
- 一、願わくは、空理を語らず日本人の社会生活の向上発展のために、たとえ一石一木でも必ず加えるような有用の人物を作りたい。

法政大学の礎を作った人物たち



梅 謙次郎

(Kenjiro Ume / 1860 - 1910)

「日本民法典の父」と呼ばれる大学者です。1889(明治22)年、和仏法律学校となった本学の発展を主導しました。梅が創設した清国人留学生のための「法政速成科」は胡漢民・宋教仁・汪兆銘等の中国近代史に名を残す人びとを多く輩出したことで知られています。



大内 兵衛

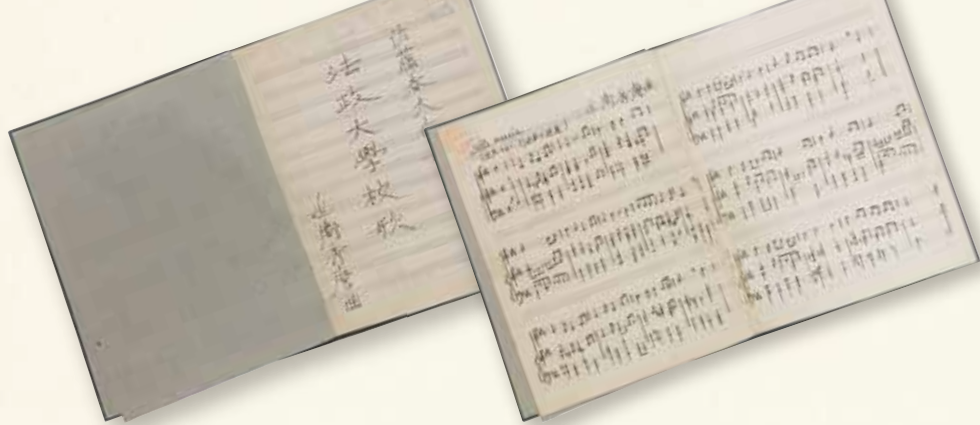
(Hyoe Ouchi / 1888 - 1980)

著名な経済学者で、戦時下の空襲で多くの校舎を焼失した本学の復興を担った野上豊一郎総長の急逝後、総長として本学に招かれました。1950(昭和25)年から9年にわたる在任期間に、ハード面でもソフト面でも戦後の本学の発展の基礎を築きました。

市ヶ谷校地

和仏法律学校となった1889年に、現市ヶ谷キャンパスよりもやや東側に九段上校舎を建てて移転してきました。さらに1921年に市ヶ谷キャンパスのある富士見の地に新校舎を建て、複数学部を擁する総合大学としての発展がここにはじまります。江戸東京の中心、江戸城＝皇居の内濠と外濠の間にあって、まさに東京の中心に位置する市ヶ谷キャンパス。江戸時代には数多くの旗本等の屋敷が並んでいた山の手の地です。





校歌を知ろう!

▲近衛秀麿直筆法政大学校歌楽譜

みなさんは、入学式で校歌を耳にしたでしょう。法政大学の現在の校歌は、学生たちの間で新たに作成の気運が高まって、それまで歌われていた校歌（現、行進曲）に代わり、1930（昭和5）年に制定されました。そのための募金活動、作詞・作曲者の選定・依頼も学生が担った、まさに「学生による校歌」であるのも本学らしいところです。

1

若きわれらが命のかぎり
ここに捧げて（ああ）愛する母校
見はるかす窓（の）富士が峯の雪
蛍集めむ 門の外濠
よき師よき友 つどひ結び
法政 おお わが母校
法政 おお わが母校

Alla Marcia

元気のよい行進曲の曲調



2

若きわれらが命のかぎり
ここに捧げて（ああ）愛する母校
われひと共にみとめたらずや
進取の氣象 質実の風
青年日本の代表者
法政 おお わが母校
法政 おお わが母校

まず、これからずっと愛する母校のために尽くそうという志を謳います。

1番の「見はるかす窓の富士が峯の雪、蛍集めむ門の外濠」は、その名も富士見坂から、はるか遠くに雪を頂く富士山を望み、清らかな水をたたえその上を舞う蛍を集められる外濠に隣接する母校には「蛍」「雪」が揃っていて、勉学に励むのに最適だという意味です。蛍の光や窓の雪の光で勉学に励んだ中国古代、六朝時代の学者車胤・孫康の「蛍雪の功」の故事をふまえています。昔は外濠も蛍が住めるほどにきれいだったのでしょうか。

2番の「われひと共に認めたらずや、進取の氣象、質実の風」は、我々学生たちもまた他の人々も皆が必ずや認める（「～たらずや」は「認めないことがあろうか」、反語表現です）、法政大学の時代を先取りする自由でありながらも、飾らない学風を称えます。

作詞者佐藤春夫は、抒情的な作風で知られる詩人で、小説や随筆等にも多才さを発揮した、大正・昭和初期を代表する作家の一人。当時、本学で文章の講義を担当していました。近衛秀麿は、後に首相を務める近衛文麿の弟で、指揮者・作曲家として、草創期の日本のオーケストラ運動を担った人物です。応援団員の古い回想文によれば学生のついで作曲を依頼したといえます。

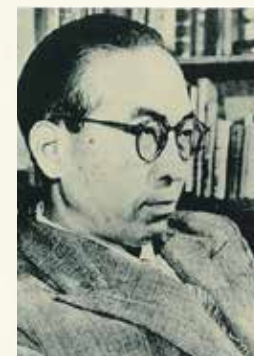
本学ホームページには音源も掲載しています。六大学の校歌の中でも音域が広く、美しい旋律をもつこの校歌。その意味をかみしめつつ聞いてみましょう。

法政大学校歌の試聴ページ

<http://www.hosei.ac.jp/gaiyo/symbol/koka.html>



作詞者
佐藤 春夫
Haruo Sato



作曲者
近衛 秀麿
Hidemaro Konoe



霞五郎, 1981, 『法政大学物語百年史』法友新聞社



「進取の気象」あふれる法政大学にも、長い歴史の中で法政大学にゆかりのある先人たちから寄贈を受けるなどした知の遺産の数々が保存されています。とくに市ヶ谷図書館には、誰しもが驚く貴重な蔵書があります。開架に並ぶ図書だけを見て侮るなかれ! ここでは、その一端をご紹介します。

正岡子規文庫

俳句・短歌と、日本の詩歌を革新したことで名高い正岡子規(1867-1902)が所蔵していた書籍が2,000冊余、貴重書として保管されています。子規の没後、その蔵書を守り伝えた門人寒川鼠骨によって1949年に法政大学に寄贈されました。これには、子規との交友が知られる夏目漱石の門人で、この時、法政大学の総長であった能楽研究家で英文学者の野上豊一郎、教員の田村輝雄らの尽力があったといいます。自筆ノート類の他、子規が力を入れていた俳諧の書籍を中心に、中国で刊行されたものも含めて数多くの漢詩文の書籍、写生を唱えた子規らしく関心が高かった絵画関係の本、また、明治の知識人らしい英文の書籍など、多種多様な書籍が多数含まれています。熱心に読み込んだらしく、それらにはときに子規の書き込みが見られることも貴重です。

これらの文庫の書籍は市ヶ谷図書館で閲覧できます。希望日の前日までにB1階閉架カウンターで希望図書を指定して申し込みましょう。



学生時代の子規のノート(自筆)



中国明版『古今小説』

馮夢竜編の口語(白話)による短編小説集。上田秋成『雨月物語』をはじめ多くの日本の作品に影響を与えたことが知られています。世界に3点しか現存しないとされる貴重な典籍です。



『父の思』

二代目市川團十郎が父の初代団十郎追善のために編んだ俳書。錦絵(多色摺り浮世絵)以前の色刷りの技術をうかがわせる貴重な書物です。

和辻哲郎文庫

「和辻倫理学」として知られる独自の思想体系を築いた和辻哲郎(1889-1960)の旧蔵書です。和辻と聞いてピンとこない人も、『古寺巡礼』(1919)の著者といったら分かるでしょうか。かつて法政大学文学部哲学科で教鞭をとったこともある和辻の没後、その夫人照の意志によって、友人で法政大学文学部哲学科教授谷川徹三(後に総長、詩人・谷川俊太郎の父)を介して、一括して寄贈されました。

和・洋併せて5,000冊におよぶその蔵書には、随所に疑問や論評などの書き込みが見られ、それらを通して、宗教や古典文学、芸能、風土など多岐にわたる広い視野から日本人の精神史を捉えた和辻の思考、研究の跡がたどれる点は何よりも貴重です。



『カント全集』に挟まれていた和辻自筆メモ

三木清文庫

本学の教授を務め、治安維持法違反の嫌疑を掛けられて獄中で非業の死を遂げた哲学者三木清(1897-1945)の旧蔵書8,000余冊です。人生の諸要素を考える手がかりとして今も広く読み継がれる『人生論ノート』で知る人も多いでしょうか。京都で西田幾多郎に、ドイツでハイデッガーに学んだ三木の膨大な蔵書は、その半数近くが洋書で、当時のドイツ哲学文献の宝庫です。三木の没後、遺族に守られていたものを1950年に本学図書館が購入しました。

本学多摩図書館には、三木と同じく西田門下で、三木の跡を継いで本学教授を務めた戸坂潤(1900-1945)の旧蔵書約1,500冊も収められています。



三木清旧蔵書



法政大学図書館編,1991,『法政大学所蔵文庫案内』法政大学



牧野英二,2010,『増補・和辻哲郎の書き込みを見よ! 和辻倫理学の今日的意義』法政大学出版局



新作能「草枕」

能楽研究所は能楽界と協力し、今は上演されなくなってしまった古い能の復活や、能の技法を用いたまったく新しい作品の上演などもこなしてきました。写真の「草枕」は、夏目漱石の小説や詩を素材にし、2002年に初演された新作能です。

能楽といえば、日本を代表する伝統芸能。2001年には、日本の伝統芸能としては初めてユネスコの世界無形文化遺産に登録され、いまや日本ばかりではなく、人類が共有すべき「無形遺産の傑作」として注目を集めています。

この能楽の研究で世界中に知られているのが、ボアソナード・タワー23階にある野上記念法政大学能楽研究所です。本学の元総長・野上豊一郎博士を記念して1952年に創設されたこの研究所は、能楽を専門とする研究機関として、長い歴史と実績を誇り、世界の能楽研究の一大拠点となっています。

ここには能楽の歴史を伝える数多くの貴重な資料が保管され、いまでもその整理と研究が続けられています。

金春禅鳳筆謡本

能のテキストを「謡本」といいます。能の文章（詞章）は、舞などの演技を伴わない「謡」という形式でも楽しまれていました。研究所には室町時代から現在までの謡本が、数多く所蔵されています。



『信長朱印状』

有名な「天下布武」の印がある織田信長の朱印状。観世彦右衛門という能役者に信長が領地を認める、という内容です。能は時の権力者の後援を受けて大きく発展しましたが、研究所には、そうした能の歴史に関わる資料も数多く所蔵されています。



『二曲三体人形図』

研究所には、能をどう演じるべきか、理論や実際上の注意を記した「伝書」類も数多く集められています。これは、能の大成者世阿弥が能の演技を絵入りで説明した伝書です。世阿弥時代の能の姿を教えてくれる貴重な資料です。



『風姿花伝』

世阿弥の最も代表的な著作で、「花」という言葉をキーワードに、能役者が心得るべき演技の心構えを記した理論書です。役者による演技論としては世界で最も古いものですが、実際の舞台経験に基づいた高度な内容は、今も高く評価されています。



URL : <http://noken.ws.hosei.ac.jp/>

市ヶ谷キャンパス ボアソナード・タワー23階

利用可能時間：火・木 9:30～20:00 / 金 9:30～16:30
(11:30～12:30の昼休みは閉室)

(夏季・冬季休暇期間・年末年始・入試期間・年度末・授業期間外は除く)

大原社会問題研究所は1919年、岡山県倉敷の富豪・大原孫三郎によって大阪天王寺に創立されました。社会科学系の民間研究所としては日本で最も長い歴史を有しています。大原氏は倉敷紡績などの事業を営むかわら大原美術館、倉敷労働科学研究所などを設立した異色の実業家です。彼は岡山孤児院の創設者・石井十次の事業を経済的に支え、その死後は石井記念愛染園を大阪に設けて貧困児童を対象とする夜学校を経営するなど、社会事業にも熱心な人物でした。しかし慈善事業の結果に失望し、社会問題の解決にはその根本的な調査・研究が必要であると考え、研究所の創設を決意しました。

研究所の初代所長には東京帝国大学経済学部教授高野岩三郎が就任し、彼の下に櫛田民蔵、権田保之助、森戸辰男、大内兵衛、久留間鮫造、宇野弘蔵、笠信太郎らのすぐれた研究者が集まりました。研究所はまた、大原孫三郎の資金援助のもと、研究員をドイツ、イギリスなどに派遣し、膨大な社会・労働関係図書や機関紙誌を購入しました。これらの図書は、広く一般に公開されています。

法政大学には1949年に合併されました。



大原 孫三郎



高野 岩三郎

柳瀬正夢の手

1923年の第一次共産党事件と関東大震災の衝撃のなかで、日本共産党は24年春解党しました。その後、コミニスト・グループによって25年9月「無産者新聞」が創刊されました。創刊と同時に柳瀬正夢が専属画家となります。柳瀬はドイツの漫画家ゲオルグ・グロスを知り、大きな影響を受けました。力強い線と躍動的なポーズがそれです。



カール・マルクス,1867,『資本論』

第1巻初版

本書は、マルクスが自筆でクーゲルマン宛てに献呈の辞を書いた文字通り世界で一冊しかない献呈本です。世界に100冊しかないと言われる初版のうち、研究所は、他に2冊、計3冊を所蔵しています。



アダム・スミス,1776,『諸国民の富』

初版

本書は、産業革命期の前夜に執筆されたものであり経済学の古典中の古典です。スミスは「経済学の父」と呼ばれており、自然・人文・社会の諸科学の領域に属する広範な問題を論じました。



ドイツ1848年革命の壁新聞

1848年2月、フランスに「二月革命」がおこり王政が倒されました。この事件はただちにドイツ、オーストリアに波及し「三月革命」の勃発となります。この革命で検閲が廃止され言論の自由を獲得した民衆は、当時普及しつつあった印刷技術の助けをかりて大規模に壁新聞やビラを発行しました。



ポスターコレクションの一部

研究所は社会問題研究の一環として、選挙ポスター、労働組合や農民組合のポスター、さらに労働争議や小作争議のときにあちこちに貼られたステッカーなどを大量に収集しました。原資料やポスターは、当時何が叫ばれ訴えられていたのか、直接知ることができる貴重な資料です。これらは研究所公式サイトOISR.ORGの資料検索で関連情報を得ることができますし、実際に閲覧もできます。

URL : <http://oisr-org.ws.hosei.ac.jp/>

メールアドレス : oharains@adm.hosei.ac.jp

多摩キャンパス 図書館・研究所棟5階

電話番号 : 042-783-2305

利用可能時間 : 月～金 9:00～16:30 / 土 9:00～11:30

法政大学お宝コレクション④

沖縄文化研究所は、沖縄が日本に復帰した1972年に設立されました。かつての琉球王国(奄美・沖縄・宮古・八重山の各諸島)に根づいた独特な沖縄文化を、多彩な視点・方法から総合的に調査・研究し、東アジア周辺地域の諸文化の中に位置づけつつその特質を明らかにすることを主な目的としています。国内における沖縄研究の拠点として、世界中の研究者を結ぶ情報ネットワークセンターという役割も果たしています。

研究所では、様々な調査研究活動を行なうとともに、定期刊行物として、紀要『沖縄文化研究』や琉球語を探索し記録する『琉球の方言』、貴重な史資料を翻刻・収録する『沖縄研究資料』、研究所の活動記録や研究上の情報交換を目的とする『沖縄文化研究所所報』などの形で発信しています。また『叢書・沖縄を知る』シリーズの監修・刊行もしています。

研究所には資料閲覧室が併設され、所蔵する図書、新聞・雑誌、貴重文献資料などを閲覧、利用することができます。また学部生の通年講義として「総合講座 沖縄を考える」を開催し、国内外からゲスト講演者をお呼びして一般市民と共に学ぶ場を設けています。



琉球舞踊・組踊

沖縄文化研究所では、東京で観る機会の少ない沖縄伝統芸能の鑑賞の機会を提供しています。これまでに、人間国宝保持者の宮城能鳳氏による琉球舞踊や、沖縄芝居実験劇場による組踊などを上演しました。

琉球王国から受け継がれた文化。法政大学と沖縄とにこんなつながりがあったなんて知らなかったなあ。



沖縄文化研究所



島常賀作のシーサー

沖縄の伝統工芸の名工、島常賀(1903-1994)作のシーサー。法政大学校友会沖縄支部から寄贈されました。



楚南家文書

琉球王国旧久米村の士族、楚南家に伝えられてきた18世紀から19世紀の漢籍の文書です。中国との外交に関する実務段階の貴重な下部文書が多くあります。ほかに、中国福建人が官話(標準語)を学ぶための教科書であった『新刻官音彙解義音中』『新刻官話彙解便覧』『較正官音使途必需雅俗便覧』が揃っています。2013年度に修復作業が完了しました。



伊波普猷資料

伊波普猷(1876-1947)は、人文・社会科学のあらゆる側面から沖縄研究を展開し、いわゆる「沖縄学」の基礎を築きました。「沖縄学の父」と称されました。沖縄文化研究所には、『沖縄歴史物語』『おもろ覚書』『おもろ語彙』などの直筆原稿を所蔵しています。



中野好夫記念文庫

英文学者の中野好夫(1903-1985)が私財を投じ主宰していた「沖縄資料センター」の資料が法政大学に移管されたことが沖縄文化研究所設立の契機となりました。1960年代の機関誌、ピラ、チラシなど米軍占領下における沖縄を知る上で貴重な資料が多く含まれています。

URL : <http://www.hosei.ac.jp/fujimi/okiken/>
市ヶ谷キャンパス ボアソナード・タワー21階
電話番号 : 03-3264-9393
利用可能時間 : 月・水・金 9:10~20:00 / 火・木 9:10~17:00
(11:30~12:30の昼休みは閉室)
(土日、祝日以外で入学試験等による臨時閉室があります。)

大学での学びとは

WHAT IS STUDYING AT A UNIVERSITY

時間割をつくる

① 授業の形態

ところで大学ではどんな授業をしているのでしょうか？ 大学での授業には、①講義、②実験・実習、③ゼミ（演習・卒業研究）と大きく分けて3種類の形態があります。



講義

講義科目では、先生の講義を聞いてノートを取ることが授業参加の第一歩ですが、実は講義のスタイルは先生によって違いますし、板書のスタイルも十人十色。ノートの取り方が学びの基本技術です。多くの授業では総まとめは期末試験やレポートとなります。



実験・実習

実験・実習科目ではグループでのテーマに沿った実験と結果の分析、コンピュータや作品制作のワークショップ、社会調査のフィールドワークなどがあります。課題に挑戦して、講義だけでは知りえないことを探究します。



ゼミ（演習・卒業研究）

ゼミ（演習・卒業研究）では、指導教員の先生に助言をうけながら、長い時間をかけて、問題意識を深めじっくりと研究します。一般にはゼミの成果がいわゆるゼミ論ですが、それが卒業研究、卒業論文（卒論）となる学部もあります。ゼミとは大学での学びの到達点ともいえるでしょう。

② シラバス

それぞれの科目の内容を詳しく知るために、必ず学部が発行するシラバスに目を通してください。その科目の目的、学習の到達目標、授業計画、成績評価の方針などが説明されています。シラバスには学部より配布される印刷物とWebシラバスがありますが、Webの方により詳しい情報が載っている学部・科目もあります。適宜使い分けてください。

シラバスを読みこなすコツを身につけましょう。それには学部が配布する「履修の手引き」にもしっかりと目を通してください。皆さんが調べている科目が、学部カリキュラムのなかでどのような役割を担っているかが「コース」や「科目群」というかたちでまとめられています。

シラバスは学期中にも十分に活用してください。受講する科目の授業計画に親しんでおくと、予習・復習が効率的になります。

！ ハンドブック筆者がこっそり教える！「シラバス」活用術

シラバスを小さくコピーして授業ノートの表紙ページに貼っておくと、毎回の授業の進捗と授業計画全体との関係がいつも良くわかるので大いに役に立ちました、という先輩もいます。

③ 履修登録

自分にとって最良の履修計画は一人ひとり異なります。よく考えてどの科目を履修するかを決めてください。教職員や先輩にアドバイスをもらうのも、大いに参考になるでしょう。でも最後は自分で判断して決めてください。皆さんの履修計画は皆さん自身のものですから。

学部学科によっては、多くの必修科目が指定されているところもあります。履修の手引きとシラバスを良く読んで、学部の教育方針や履修指針をきちんと理解することが大事です。

履修する科目を決めたら登録します。履修登録には手続きの期間がありますので、学部ガイダンスの内容や履修の手引きをよく理解して、手続き漏れのないように十分に注意しましょう。Webの不具合も想定して時間に余裕をもって行うことも大切です。履修登録をすませたら登録結果を確認することもお忘れなく！

！ 学習サポートの窓口「学習ステーション」

市ヶ谷キャンパスの「学習ステーション」では、4月に新入生のキャンパスライフをスタートするための様々な質問を受け付ける「新入生サポート」を行っています。活用しましょう。また、学生スタッフが自分たちの強みや得意分野を活かして作成したプログラムを中心に、他の学生の「学び」をサポートしています。

場所

市ヶ谷キャンパス 富士見坂校舎2階

！！ ちょっと待って！

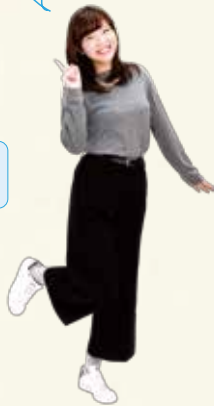
- ▲「必修科目じゃないから、この科目は履修しなくていいや」
- ▲「選択科目はどの科目でも好きな順番に履修していいよね」
- ▲「今学期いちばん簡単そうな科目はどれかな？」
- ▲「アルバイトやサークルの時間を確保したいので、授業はできるだけ同じ曜日に集中して取ればいいんだよ」

こういう考え方で科目を選びがちですが、皆さんの学部の履修モデルはどうなっているのか確認したうえで、登録しましょう。

履修や成績などにかかわる 各種システムを利用しよう!

大学には履修や成績、Webシラバスなど、授業や履修にかかわる様々なシステムがあります。用途により、利用するシステムが違いますので、違いをよく理解して活用しましょう。

学内システムは
いいはあるけど
覚えておかないと
あとが大変なんだよね。



1 情報システム ※統合認証アカウントによるログインが必要となります。

<https://www.as.hosei.ac.jp/>
(ユーザーサポートサイト)



Web履修登録システム、各種お知らせ配信サービスなど、学部の事務を中心に学生生活をサポートします。

※統合認証アカウント

詳しくは総合情報センター発行の利用ガイドもしくはnet2010ユーザー支援サイト(<http://net2010.hosei.ac.jp>)を参照してください。

Web版の主な機能

- ①履修申請 — 履修登録ができます。※履修登録は全員が必ず行わなければなりません。
 - ②授業・時間割照会 — 自分が履修登録した授業時間割を確認できます。
 - ③休講・補講状況照会 — 履修登録した授業の休講・補講を確認できます。
 - ④抽選授業履修申請 — 抽選対象科目の申請、および結果の確認ができます。
 - ⑤単位修得状況照会 — 自分が修得した単位を確認できます。
 - ⑥キャリア就職 — 就職活動の補助ツールとして、企業検索などができます。
 - ⑦奨学金申請 — 奨学金の申請ができます。
- ※②③は事務による履修登録承認後、利用できます。

こんなところが便利!

「お知らせ配信」は、携帯電話に転送する設定が可能ですので、外出先でもお知らせを配信確認することができます。

携帯版の主な機能

- ①時間割 — 自分が履修登録した授業時間割を確認できます。
 - ②休講情報 — 全学の休講情報を確認できます。
 - ③お知らせ配信 — 大学からの個人・全体・学部学科宛のお知らせを確認できます。
 - ④メール配信設定 — お知らせと休講情報のメール配信設定ができます。
- ※①は事務による履修登録承認後、利用できます。

2 Webシラバス

<https://syllabus.hosei.ac.jp/>



こんなところが便利!

冊子シラバスが手元がない時でも授業の概要を知ることができます。
条件による科目の検索が可能です。

各授業の概要をWeb上で公開しています。授業の到達目標、テーマ、授業計画、テキスト・参考書、成績評価基準など、授業を選ぶ際の参考となる情報が閲覧できます。

3 授業支援システム ※統合認証アカウントによるログインが必要となります。

<https://hcms.hosei.ac.jp/>



こんなところが便利!

授業によって、教員がアップロードした資料をダウンロードすることができます。

授業を補助するツールとして授業支援システムを導入しています。これは、インターネットを使って教材の配布、レポートや小テストの実施などを行うシステムです。

- 授業支援システムにも「授業自己登録」という機能がありますが、これは授業支援システムでの利用登録であって、正式な授業の履修登録ではありません。間違えないように注意してください。
- このシステムは、担当教員により利用状況が異なりますので教員の指示に従って利用してください。

▶ 授業支援システムの利用イメージ、必要性、各種ガイドは、P.20、21に詳しく説明しています。

4 授業改善アンケートシステム

<http://fdsur.c-learning.jp/s/>

こんなところが便利!

Webで簡単操作。
授業の要望を教員へ伝えられるツールです。

「この授業、わかりにくい」「こうすればもっと面白くなるのに」— そんな感想や意見をもったことはありませんか。学生の皆さんの声を大学のFD活動に生かすため、法政大学では2004年度から原則としてすべての学部・学科、大学院(博士後期課程は非実施)で「学生による授業評価アンケート」を実施してきました。2014年度からは、Web方式となりました。

▶ 授業改善アンケートシステムの利用については、P.38、39に詳しく説明しています。

授業支援システム

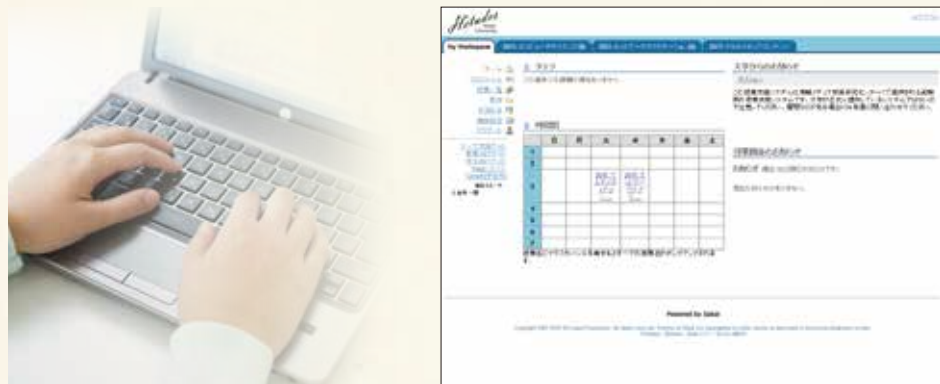
授業支援システムとは？

日常、LINEやFacebookを使っている人は多くなってきていますが、授業支援システムもこうしたIT（Information Technology、情報技術）を使ったアプリケーションのひとつで、文字通り授業を支援するためのシステムです。

大学ではいろいろな授業の形態がありますが、100人を越するような授業で皆さんがレポートを提出するために大学がレポート提出箱を用意し、皆さんがそこまで出向いてレポートを提出し、教員がそれらを集めて管理する方法のほかにも、Webでも対応できるように法政大学では授業支援システムが導入されています。はじめにレポート提出の場面を例にとって利用イメージを紹介しましょう。

まず皆さんは授業支援システムにパソコンなどでアクセスします。すると下の画面が表示されます。そして教員が提示したレポート課題を確認します。その後、その課題をワープロソフトなどで作成します。最後にできあがったレポートを授業支援システムに投稿します。

こうして授業支援システムにより、皆さんはいつでもどこでもレポートを提出することができます。そして、そのレポートは確実に教員に届けられるので、レポート授受の問題もありません。多くの教員がこの授業支援システムを使って授業を運営しているので、なるべく早いうちにその使い方を習得してみましょう。



授業支援システム画面例

授業支援システムの機能

授業を担当する教員によって使う機能は異なりますが、授業支援システムでよく利用されている機能は以下のとおりです。

- ・お知らせ: 授業を担当する教員による各種お知らせを参照できます。
- ・教材: 授業で使う教材、授業で説明した資料などを参照できます。
- ・レポート提出: レポート課題の確認、レポート提出ができます。
- ・掲示板: 教員を含むクラス全員でディスカッションができます。

各種ガイド

授業支援システムに関する情報は次のようなところから入手できます。

1 ポケットガイド

授業支援システム、利用ガイドへのアクセス先と問い合わせ先（キャンパスサテライト）が記載されています。名刺サイズなのでいつも携帯しましょう。

2 スターティングガイド

授業支援システムの最低限の利用方法が記載されています。A4サイズで6ページですので、利用ガイドからダウンロードし印刷しておきましょう。

3 利用ガイド（<http://cmsguide.hosei.ac.jp/hcms-student.html>）

スターティングガイドのほか、PC画面とマウスの動きを再生できるビデオが収録されています。

4 キャンパスサテライト

上記ガイドで分からない時には各キャンパスに設置されているキャンパスサテライトを利用しましょう。授業期間中、相談員が常駐しています。

- ・市ヶ谷：富士見坂校舎2階情報カフェテリア2
- ・多摩：総合棟3階総合情報センター準備室
- ・小金井：西館地下1階メディア準備室



ポケットガイド



スターティングガイド



利用ガイド画面例

!! これだけはやっておこう

授業を担当する教員が皆さんに連絡をする手段として授業支援システムのメール機能を使うことがあります。また、レポート提出期限の24時間前までに未提出だとメールでお知らせしてくれます。授業支援システムでは2つのメールアドレスが登録できるので大学発行のメールアドレス（学生氏名.xx@stu.hosei.ac.jp）というも使っている携帯電話などのアドレスを登録しておきましょう。

学習ポートフォリオのすすめ

① 学習ポートフォリオとは

学習ポートフォリオとは、学習過程を記録し、そこでの成果を収集したものです。自分自身の未来に向かって、ぜひ学習ポートフォリオを作成し、活用してみましょう。

② 学習ポートフォリオのメリット

メリット1：自分自身を知り、目標を考える情報源になります

メリット2：自身の成長を実感できます

メリット3：就職活動にも役立ちます

③ はじめてみよう

まずは、目標設定からはじめてみましょう。ノートでもクリアファイルでもスクラップブックでも何でも構いません。あとは自分がやったこと、考えたことを記載し、その時の資料を蓄積し、振り返って気づいたことをメモしましょう。これは、法政大学のとある授業内で実際に使用しているフォームです。学期のはじめにまず目標を記入し、学期の終わりに改めて振り返ってみることで、学生は多くの気づきがあるようです。

目標管理カードの作成例 A4用紙1枚から簡単に始めることができます！

目標管理カード

年度 期	① 記入日	② 氏名	③	④
目標 (何を)	設定理由 (なぜ)	難易度	達成方法 (どのように、いつまでに)	取り組みメモ (やったこと、考えたことの記録)
個人目標				自己評価
授業での目標				
反省				
コメント				

- ① 将来の目標ややりたい自分をイメージして書き出してみましょう。
- ② 次にそのイメージに向かうためにやることを挙げてみましょう。
- ③ 学習や生活の中で、実際に、自分のやったこと、考えたことを文字にまとめてみましょう。資料があればファイルなどにまとめておきましょう。
- ④ あとで、もう一度振り返って記入した内容を見てみましょう。書いた当時より今の自分が成長していることを感じられるはずです！

難易度は、S(極めて達成が難しい)、A(達成が難しい)、B(通常努力で達成が可能)、C(達成は容易)の4段階で評価すること。

ウェイトは、合計が100%になるように記入すること。

取り組みメモは、そのために自分がなにをやったか記録すること。書ききれない場合や、他に資料がある場合は、別紙を貼ったり、ファイルを用意して関連する資料をまとめておくとよい。「自己評価」、「反省」、「コメント」は、事後に記入します。

▲教員や友人からのアドバイスなども書き留めておくのもいいかもしれませんね。

このフォームはきっかけとしての一例ですが、これを参考に、自分に合ったポートフォリオ作りをしましょう。自分の使いやすいかたちが見つかるまでは試行錯誤すると思いますが、それも学習のうちです。一部の学部や授業ではすでにインターネットを利用した【eポートフォリオ】を導入しているものもありますので、それらと組み合わせて、うまく活用するのもよい方法です。

こんな内容を記録してみても、自分らしいポートフォリオができます。

- 授業で作成したレポートや論文、成績表
- 読書記録、気になった新聞記事とそれを読んで調べたり、感じたりしたこと
- サークル活動の記録、正課外活動、インターンシップ活動記録、OB・OG訪問の記録
- 心が動かされた出来事

まずは始めてみることで、そして続けることが大切です。

①②目標設定→③資料や気づきの保存→④振り返り・自己評価

※この作業を繰り返していくことで、自己分析の資料が自然と仕上がります。



ノートの取り方

「時間割をつくる」の項目でも触れましたが、講義授業ではきちんとしたノートを取ることが学びの基本技術です。良いノートは理解を助け、皆さんの学びの質を高めてくれるでしょう。では、どのようなことに注意すれば良いノートが取れるようになるのでしょうか？

① 大学の授業は何が違うのか

まず、大学の授業が高校の授業とどこが違うのかを考えてみましょう。よく言われることですが、高校までの授業は教科書に沿って進められ、毎回の授業内容は細かく決まっています。ノートは板書内容を書き写すことが基本です。

これに対して大学での授業は、先生方の個性豊かなスタイルで進められます。そして一般には板書することよりも皆さんに語りかける比重の方がずっと大きいのです。授業とは、もはや知識を伝授するだけの場ではなく、むしろ皆さんの問題意識を掘り起こし議論を仕掛けるような、知的な訓練の場になります。そして何よりも、大学で扱う授業のレベルは高校の授業のレベルより高いのですから、皆さんが知らない学説や耳慣れない学術用語がポンポン飛び出してくるでしょう。

② いくつかのヒント

ではどうすればよいのか？ 実は普段の生活の中にヒントがあります。わたしたちは大事な話を聞きもらすまいとしてメモを取ることがありますね。その時には自然と話の要点だけを書き留める努力をするのではないのでしょうか。耳では一生懸命に相手の話を聞いて理解に努めながら、同時に手は大事なポイントを書き留める作業をしています。そして理解できなかったことや、本当に大事なことはあとで確認しますね。良いノートを取るコツも実はまったく同じなのです。

講義内容の要点がまとめられているノート

要チェック項目がきちんと書き留められているノート

あとで復習するときに講義内容が思い出せるノート

以上の3点を押さえてさえいれば、ノートの取り方は各自でやりやすい方法を工夫すれば良いのです。もっと大事なことは、その日のうちにノートを見直して講義内容を自分なりに整理することです。でもそれだけでは「何をどこから始めてよいかわからない」という人のために、一例として次のページの図のような方式をご紹介します。



まず紙面を3つに分けます。ノートの左端と下端からそれぞれ5～6センチのところに線を引きます。線のかわりに紙面を軽く折っても良いでしょう。

授業中にノートを取る時には、まずAの部分に書き込むようにします。あとで整理するために、最初はB・Cの部分は使わないでおきます。

授業が終わったらすぐにまとめます。Aの内容をあらわすキーワードや短い字句を考えてBの部分に書き込みます。同時に疑問点や要チェック事項を書き出しておくといいでしょう。

最後に講義内容を一行程度の短い文にまとめてCに書き出します。上手に整理されたノートでよく復習すれば、レポートや期末試験対策も効率的ですね。

板書を丸写しするスタイルを卒業して、要点をまとめ疑問点を洗い出すノートの取り方を、皆さんも工夫してみましょう。

受講のマナー

ヨーロッパの劇場でオペラを見ていたときの事です。序曲の演奏が始まった劇場に、何人かの旅行客が入って来ました。美しい劇場に感激したのか、何やらおしゃべりをしながら自分たちの席を探しています。よく聞くと……、なんと日本語ではありませんか。同じ日本人として思わず赤面してしまいました。

皆さんはこんな場面に会ったらどう感じるでしょうか。映画館や劇場の中で、上演中に歩き回ったり、おしゃべりをしたりするのはとても迷惑ですね。ところが不思議なことに、学校での授業となると、こうしたことを平気でする人がいます。

大学が毎年行なっている授業改善アンケートでも、多くの学生から「授業中に周囲のおしゃべりがうるさくて勉強にならない」、「平気で遅刻や早退をする人がいる」といった不満の声が上がっています。

教室の中では学びたいという学生の権利が何よりも優先されます。他の学生の権利を侵害しないよう、大学人としてのマナーを守りましょう。公私の別をわきまえることが大人への第一歩です。

受講マナーのチェック・ポイント

- ✓ 授業中の私語は他の学生の学ぶ権利を侵害します。絶対にやめましょう。
- ✓ 遅刻や中途退出も他の学生の迷惑になります。
- ✓ 携帯電話の呼び出し音や振動音が鳴らないよう、授業前に電源は切りましょう。
- ✓ 授業中の飲食もマナー違反です。

本学創設時に多大な貢献をしたボアソナード博士が大切にしていた言葉があります。

「人ヲ害スル勿レ」

古代ローマの法学者ウルピアヌスの言葉で、人の権利を侵害してはならないという意味です。人間の権利をなによりも大切に考えるフランス自然法思想をよく表しています。

授業中に私語をするのは、ボアソナード博士の戒めた他人の学ぶ権利を侵害すること。法政大学生なら、そんなことはしないはずですね。



教員に連絡するときは

授業外で担当教員に連絡するには、シラバスなどに載っているアドレスにEメールを送ります。その際、必ず件名に「授業名・学生証番号・氏名」を書きましょう。本文にも用件だけでなく、宛名「〇〇先生」、あいさつ、差出人名を忘れずに。添付ファイルを付ける場合は、誰のどんなファイルか分かる名前を付けましょう。件名・宛名・あいさつ・差出人名をきちんと書くことは大学の外でも求められる基本的なメールのマナーです。

ゼミ（演習・卒業研究）

大学には、学生が主体となって研究を進める、ゼミと呼ばれる授業があります。受け身の学習をする「生徒」から、主体的な研究を進める「学生」への転換を象徴するのがゼミです。専門のゼミは本格的な学びへと進んでから自らの研究テーマを選ぶのに合わせ、多くの学部で2～3年次に始まりますが、1年生のうちから「基礎ゼミ」などの名称でそれに向けた助走としてプレゼンテーションやディスカッションのスキルを身につける授業が開講されているでしょう。みなさんもぜひ今から専門のゼミで十分力を発揮できるように、心構えをしておきましょう。



① 研究テーマを見つけよう

大学は、知の生産者を育てる場です。では、どうすれば新たな「知」を生み出すことができるのでしょうか。

知の生産者を代表するのが科学者と呼ばれる人々ですが、この科学者について、宇宙物理学者である池内了はこう書いています。「科学者は、何もかもわかっている人間なのではなく、現在、何がわかっていて、何がわかっていないかを最もわかっている人間なのです」（池内了, 1996, 『科学の考え方・学び方』岩波書店）。

すでに明らかになっていることを、一から研究しても意味がありません。未解明のテーマを見つけ、それを解明する方法を考えることが研究の第一歩となります。

② 先行研究を調べよう

では、どうすれば未解明のテーマを見つけて、新たな知を生み出すことができるのでしょうか。

ここで一つクイズを出してみましょう。世界一高いピラミッドを作るには、どうすればよいでしょうか？

これから建築や土木を学ぼうとしている人もいるでしょうが、あまり真剣に考えないでください。答えは簡単です。まずは世界一高いピラミッドの頂上に登り、そこに小石を一個置くのです。これで世界一高いピラミッドの完成です。

大学での研究もこれに似たところがあります。まずは先人が積み上げた研究成果——これを先行研究といいます——を学び、その上に新たな成果を重ねることが必要です。もちろん先行研究をただ鵜呑みにしたのでは、新たな研究テーマは見つかりません。先人の研究成果に敬意を払いながらも、「本当にそうなのだろうか」という批判的思考 (critical thinking) を持つことが大切です。ときには先人が積み上げたピラミッドとはまったく別に、新しいピラミッドを基礎から作り直すこともあるでしょう。これを米の科学史家T・クーンは、「科学革命」 (scientific revolution) あるいは「パラダイム・シフト」 (paradigm shift) と呼んでいます。



Kuhn, Thomas Samuel, 1962, *The Structure of Scientific Revolutions*, Chicago: University of Chicago Press.

邦訳: 中山茂訳, 1971, 『科学革命の構造』みすず書房。



③ プレゼンテーション

プレゼンテーションは、論文やレポートと同じく、人に研究成果を伝えることを目的としています。しかし、その方法は大きく異なります。まずはプレゼンテーションの長所と短所を整理しておきましょう。

【長所】

- ① 文字や図版だけでなく、音声や動画などさまざまなメディアが使える
- ② 聴き手の反応を見ながら、発表のしかたを工夫することができる

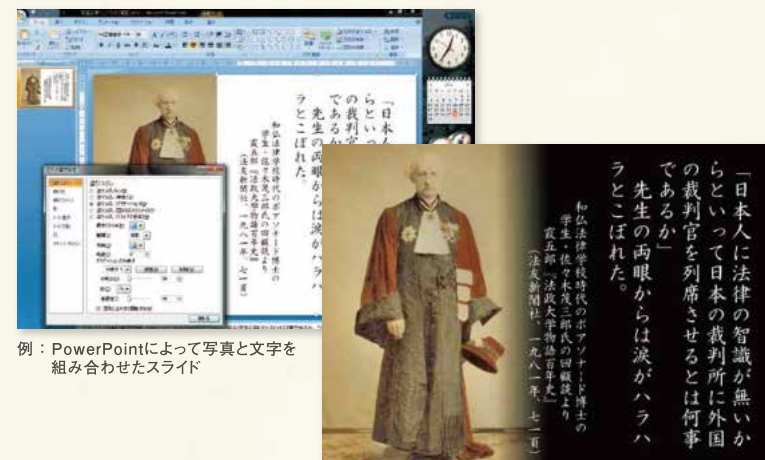
【短所】

- ① 決められた時間内に発表を終わらせなければならない
- ② 文章のように読み返しができないため、時間軸に沿った情報提供となる

長所①を生かすためにマスターしたいのが、プレゼンテーション・ツールの使い方です。

Microsoft社のPowerPointなどがよく使われていますが、こうしたツールを使いこなすことで、文字や図版、音声や動画などをシームレスに組み合わせたプレゼンテーションを行なうことができます。以下の図は、PowerPointによって写真と文字を組み合わせたスライドです。必要に応じてこれに音声を加えたり、動画を挿入したりすることもできます。

一方、聴き手からみた場合、短所②に挙げたように、プレゼンテーションは時間軸に沿ったシーケンシャル (sequential) な情報提供となり、印刷物のようなランダム (random) な情報検索——わからないところを読み返したり、不要なところは読み飛ばしたりすること——はできません。このためスライドだけではなく、要点や資料をまとめたプリントなども同時に配布するとよいでしょう。



例：PowerPointによって写真と文字を組み合わせたスライド

- ✓ プレゼンテーションには、通常、時間制限が設けられています。発表が時間内に終わるようにスライドの枚数を調整するとともに、予行演習をするようにしましょう。
- ✓ スライドの文字が見にくいと、プレゼンテーションの効果が半減してしまいます。後ろの席からもスライドの文字が見えるように、フォントの大きさや色に注意しましょう。
- ✓ 文献やデータを引用するときには、論文やレポートの場合と同じく、必ず出典を明記しましょう。
- ✓ 音声や動画はスライドのファイルの中には取り込まれない場合があります。音声や動画を使うときは、注意が必要です。



④ ディスカッション

プレゼンテーションと並んで、演習のもう一つの柱となるのがディスカッションです。ディスカッションの目的は、他の人の考え方や感じ方を知るとともに、議論の中で論理の矛盾や論証の不足などを指摘しあい、研究の質を高めることにあります。ときには人からよいアイデアをもらうことで、研究が飛躍的に発展することもあります。

演習でのディスカッションで大切なことは、論拠を明確にし、正しいことは正しい、間違っていることは間違っていると、他の人が判断できるような議論をすることにあります。これをオーストリア出身の哲学者カール・ポパーは「反証可能性」(falsifiability)と呼んでいます。

たとえば、「最近、犯罪が多い」というのは、事実を述べたことにはなりません。なぜなら「多い」と感じるかどうかは個人的な感覚に過ぎないからです。一方、これを「最近、犯罪が増加している」といえば、反証が可能となり、議論が成立します。演習の中に犯罪統計に詳しい人がいれば、きつこう反論するでしょう。「あなたの意見は間違っています。平成26年版の『犯罪白書』によれば、刑法犯の検挙人員は平成16年の128万9,416人をピークに減少し続け、25年は88万4,540人と、約31%も減少しています。」

こうしたルールを守って議論することで、ディスカッションはより生産的なものとなるはずです。

グループ学習に最適な学内施設を活用しよう!

ゼミでの発表の準備や、プレゼンテーション資料の作成など、授業時間以外にグループでディスカッションをする場として、「ピア・ラーニング・スペース」や各キャンパスの「ラーニングcommons」を活用しましょう。

LAN環境はもちろん、自由にレイアウトできる可動式の机やホワイトボード、プロジェクター、スクリーン、大型モニターなども用意されたグループ学習のためのオープンスペースです。仲間との自由なディスカッションで、教室での学習とは、またひとあじ違った、良いアイデアがたくさんでるかもしれません。どのキャンパスの学生も利用可能です。

ラーニングcommons

各キャンパスの図書館には、「ラーニングcommons」が設置されています。

また、多摩図書館には、3階閲覧室の一部に少人数(1~3名)対象のアクティブラーニングスペース「クリエイティブルーム」を設置しています。リラックスした雰囲気との持込ノートPC環境を整え、また、図書館内でありながらも周囲の迷惑にならない範囲の学習目的の会話ができるスペースとなっています。

市ヶ谷図書館と多摩図書館には他に、グループ学習室もあります。

各キャンパスとも、閲覧室と合わせ、人数・目的に応じて施設を選べる「学問したくなる図書館」になっています。

ピア・ラーニング・スペース (市ヶ谷キャンパス ポアソナード・タワー3階)

グループワーク・エリア

大型モニターやホワイトボード、模造紙や付箋等の消耗品類などグループワークに必要なものが自由に利用できます。また、ノートパソコンの貸出やオンデマンドプリンターも設置されています。机も自由にレイアウトできるので、自由な発想で利用してみてください。

ワークショップ・エリア

ガラスパーテーションで区切られた3つの部屋があります。ゼミの打ち合わせなど、じっくり取り組みたい時に最適です。各部屋は、予約制となっておりますのでカウンターにて予約してください。なお、空いているときはカウンターに申し出れば当日利用もできます。予約は、90分単位で1週間前から可能です。

AVライブラリーエリア

語学教材や、新旧名作映画など14,000を超えるソフトが視聴できます。



キーボードに慣れよう!

文系理系、学部問わず、大学では、パソコンを活用した授業も多くあると思います。パソコンに慣れるには、タッチタイピングが必須です。ぜひ、皆さんも、正しいタッチタイピングができるように練習してください。タッチタイピングのソフトは、フリー、市販を問わずたくさん出ています。このようなソフトを使って練習してみるのも上達への第一歩です。

以下は、こうしたフリーソフトの使用を想定した練習です。

タッチタイピングの基本

- 正しい姿勢をとり、体で覚えていきましょう。
- キーボードを見ないでキーを入力します。
→そのためには、正しい指使いで、キー入力することが重要です。誤った指使い、自己流のクセのある指使いでは、キー入力の速度は伸びません。
- 慣れることが大切です。繰り返し練習しましょう。

指の条件反射作り

- 指を動かしながら、ディスプレイに表示された文字を見ます。
→目一脳一指につながりができます。スポーツと同じで練習を重ねることで、だれでも習得できます(これをバイオフィードバック効果と言います)。

日本文入力は、ローマ字入力が簡単!

- ローマ字入力は、カナ入力に比べて使用するキーが少なくてすみます。

ローマ字入力を早く覚えるには?

キーの基本ポジションである、「F」、「J」を手がかりに、キーボードを見ないで、「あいうえお」に対応する「AIUEO」を入力できるようにしましょう。つぎに、「K」の組み合わせでできる「かきけこ」、「S」との組み合わせの「さしすせそ」といったように、段階を踏んで練習をしましょう。ある程度覚えたら、文字だけではつまらないので、単語で入力し覚えるようにすると飽きません。

i タブの使用に慣れよう!

タブは、キーボードの左側にあり「tab」と書かれているキーです。このキーは、英文の文頭のインデントなどに使うキーでタブキーを押すと、何文字分かのスペースを開けてくれます。スペースキーを連打して作ったスペースでもタブキーによるスペースでも見かけ上は、変わりませんが、作ったスペース上でカーソルを動かしてみるとカーソルの動きの違いでわかります。ワープロソフトでは、タブで作ったスペース幅は、後から変更することができます。ワープロソフトによりタブのスペース幅は異なる場合もあるため、タブとスペースを混在させないようにしましょう。



キーの基本ポジション

- 左の人差し指は「F」、右の人差し指は「J」に配置します。
→一般にキーボードの「F」と「J」の文字には、印があるので見なくてもわかります。はじめのうち、手の移動中はキーボードを見ても構いません。キーボードを押すときは必ずディスプレイを見ましょう。ディスプレイを見ていないと、条件反射作りになりません。

ローマ字入力でわかりづらい文字の一例

ぢ (DI)
じ (JI, ZI)
を (WO)
ひゃ (HYA, HILYA)
ぶつつん (PUTTUNN, PULTUTUNN)
ちえつく (CHEKKU, CHELTUKU, TYEKKU)
つづく (TUDUKU, TSUDUKU)
でい、でゅ (DHI, DHU)
てい、てゅ (THI, THU)
づ (VU)

など

憶
れ
る
ん
だ
け
ど
:
な
か
な
か
簡
単
に
は
い
か
な
い
ん
だ
よ
ね
精
進
あ
る
の
み
!



成績評価・授業改善

GRADE AND COURSE EVALUATION



成績評価を受ける -GPAとは-

法政大学では、2008年度以降に開講した全科目においてGPA (Grade Point Average) 制度を導入しています。

① 成績評価基準と合格点

(1) 成績評価基準 … 成績評価基準は5段階制 (A+、A、B、C、D) です。

(2) 合格点 … 合格点は60点以上です。

	合格 (単位修得)				不合格	
成績評価	A+	A	B	C	D	E
評価基準	100~90点	89~80点	79~70点	69~60点	59~0点	未受験・他

※評価基準:各担当教員の科目ごとの評価(試験、レポート、出席など)に基づく点数

!! 目標はB以上

合格点は60点以上になりますが、これは合格と認められる最低の成績であって、海外の大学などでは70点以上がその科目の要求を満たす成績と考えるところが多いようです。B以上の成績を修めれば、皆さんもその科目を理解したという実感がわくでしょう。皆さんが常にB以上の成績を修められることを期待します。

② GPA制度について

(1) GP (Grade Point) について

上記の5段階の成績評価A+、A、B、C、Dと未受験・その他の場合の評価Eに、それぞれグレードポイント (Grade Point) がつきます。法政大学では、5段階の成績評価・評価基準とグレードポイントの関係を次のとおりとしています。

	合格 (単位修得)				不合格	
成績評価	A+	A	B	C	D	E
評価基準	100~90点	89~80点	79~70点	69~60点	59~0点	未受験・他
GP	4	3	2	1	0	0

(2) GPA (Grade Point Average) について

皆さんが履修した科目の成績評価としてA+からDまでの5段階評価がつきませんが、5段階評価およびEを4~0までのポイントに置き換え、履修した単位数を掛けます。これがその科目のポイント数になります。さらに履修したすべての科目の点数を合計し、履修単位数で割って平均点を算出します。これがGPA (Grade Point Average) です。GPAの算出方法については次のとおりです。計算値は小数点以下第3位を四捨五入して表記します。

$$GPA = \frac{(\text{履修登録した各科目のGP} \times \text{その科目の単位数}) \text{の総和}}{\text{履修登録した全科目の総単位数}}$$

!! GPAのチェックポイント

- ✓ 履修登録を抹消せずE評価となった場合も、その単位数が分母に加算されるためGPAは下がります。受講しない科目は、期限内に履修登録を抹消するようにしましょう。
- ✓ 不合格 (D、E評価) になった科目も再履修して単位が認定されれば、それ以前の評価の代わりに、最後の成績評価のみをGPAに算入します。
- ✓ 教職科目や資格科目など、卒業所要単位以外で履修する科目はGPAには算入されません。

(3) GPAを表示する書類について

●成績通知書

- i. 各学期・セメスターのGPA
- ii. 直近の学期・セメスターまでを通算したGPA

●成績証明書

直近の学期・セメスターまでを通算したGPA



(4) 登録の抹消について

未受験その他によるE評価の科目は、GPA計算式において、GPを0点として分子に算入し、単位数を分母に算入しますので、D・E評価が多いほどGPAが低下します。その理由は、皆さんがしっかりとシラバスを読み、履修したい科目を慎重に決めたいと、科目登録してもらいたいからです。一度登録した科目は自覚をもって履修してください。ただし、一定期間内に申し出れば、登録を抹消することができます。登録抹消の期限については、所属の学部事務、掲示板等で必ず確認するようにしましょう。

(5) 活用方法

GPAはみなさんの成績を数値化し、客観的にみるための手段です。セメスターごとと通算の二つのデータが出されるので、1年次と2年次、あるいは3年次、4年次の成績を比較したり、推移を確認することで学習効果を自分で確認することができます。GPAが上がっていれば、努力の成果が現れたということです。また、下がっていれば、なぜ下がったのかを分析し、成績向上につなげられます。GPA制度によって、皆さんは自分の学習を自分で管理できるようになるため、この制度を活用し、大いに役立ててください。

i GPT (Grade Point Total)にも注目

大学のグローバル化が加速する中、GPAを採用する大学が年々増加の傾向にあります。文科省発行の2013年資料によると、2011年度学部段階でGPAを導入しているのは日本で453大学(約61%)に及びます。大学は、奨学金採用や大学院進学などの際に、成績優秀者を選考する資料としてGPAを利用することがあります。また最近では企業も採用の参考にすることがあるので、学生にとってはますます気になる指標といえるでしょう。

しかし、GPAにこだわると、A+やAを取りやすい最少限の科目しか履修せず、興味はあるが良い成績を取るのが難しい科目を敬遠する学生が出てきます。そこで、学部・学科の中には、GPAとともにGPT(Grade Point Total)を成績評価の指標として採用する、またはGPTの方を重視するところもあります。GPTは、以下のように算出します。

GPT = (履修登録した各科目のGP×その科目の単位数)の総和

GPTとは科目を履修すればするほど上がっていくことがわかるでしょう。GPTを利用する学部・学科は、幅広い知識や素養を身につけることを学生に促しているのです。ただし、高いGPTを獲得しようとするあまり、多くの科目を履修し、その結果1つ1つの科目の理解が不十分になってしまうのも問題です。まずは、所属している学部・学科の成績評価はGPAとGPTをどのように活用しているのかを調べたうえで、適切に科目を履修し、これらの指標を大学の学びに有効活用してください。

FAQ

Q GPAが何かに利用されることはありますか？

A GPA制度は、大学、学部を問わず、大学生の成績を比較できる制度です。実際、奨学生や成績優秀者選考の基準にもなっており、就職活動の際に重視する企業もでてきています。欧米の大学においても用いられている国際的な成績評価システムですので、海外の大学院進学の際には提示を求められることがあります。

Q GPA算出の具体例を教えてください。

A 評価がすべて「A+」であれば、GPAは「4」となり、すべて「D」であれば「0」となります。具体的な例として下記「法政太郎さんの成績表」を参照してください。

【例】法政太郎さんの成績表

科目名称	評価	G P	単位数	GP × 単位数
人間環境学入門I	A+	4	2	8
英語I	C	1	1	1
英語II	E	0	1	0
フランス語I	A	3	1	3
スポーツ科目I	B	2	1	2
行政法の基礎	A	3	2	6
NPO・ボランティア論	B	2	2	4
自然環境論I	A+	4	2	8
生命科学I	B	2	2	4
地理学I	D	0	2	0
情報処理基礎	A	3	2	6
基礎演習	B	2	2	4
統計処理I	A+	4	2	8
合 計			22	54

Q GPAの算出には不合格科目(D, E評価)も算入されますか？

A はい、されます。よって、不合格科目が多ければ多いほどGPAは低下します。

Q GPAの算出には教職・資格科目など卒業所要単位外で履修する科目も算入されますか？

A いいえ、されません。ただし、卒業所要単位を超えて履修した基礎科目・専門科目についてはGPAに算入されます。

Q 修得単位認定(R評価)や留学による外国大学の修得単位認定(S評価)はどのように扱われますか？

A R評価やS評価についてはGPAに算入されません。また、グレード評価には馴染まない各学部・学科等が判断した科目については「Pass(合格)／Fail(不合格)」(P-F評価)という形で成績評価をすることもあります。P-F評価指定科目についても同様にGPAには算入されません。

Q 不合格科目(D, E評価)を再履修して単位修得した場合のGPAはどのように扱われますか？

A 不合格科目(D, E評価)でも再履修の結果、単位が認定されれば、それ以前の評価の代わりに、最後の成績評価のみをGPAに算入します。ただし、学期・セメスターごとのGPAについては、さかのぼって修正することはしません。

授業改善アンケート

① 授業改善アンケートとは

「この授業、わかりにくい」「こうすればもっと面白くなるのに」——そんな感想や意見をもったことはありませんか。

学生の皆さんの声を大学のFD活動に生かすため、法政大学では2004年度から原則としてすべての学部・学科、大学院（博士後期課程は非実施）で「学生による授業評価アンケート」を実施してきました。さらに2009年度からは「学生による授業改善アンケート」と名称を改め、段階評価中心の質問項目に代えて、より具体的な質問項目や自由記述欄を多く含むアンケートを実施することになりました。実施方法については、学生の皆さんが責任をもって回答できるよう、2009年度から無記名式から記名式に変更しました。また学期の途中でも改善の効果を出せるよう、学期末アンケートに加えて、学期初めと学期途中の3種類のアンケートを用意し、必要に応じて実施できるようにしました（大学院は学期末のみ）。

2014年度秋学期からは、Webシステムでの実施に切り替えし、実施期間中はいつでもどこでも、インターネットを介して授業改善アンケートに回答できるようになりました。

② アンケートの集計と分析

それでは、皆さんに回答していただいたアンケートは、その後どうなるのでしょうか。

アンケートは、授業ごとに集計され、教員はWebより結果を見ることができます。学生の氏名や学生証番号は教員には表示されませんので授業改善のために、どうぞ忌憚のない意見を入力して下さい。成績評価に影響することはありません。

③ アンケートの活用と成果

「私のアンケート、何かの役に立ってるの?」そう思った人もいないのでしょうか。

各学部や学科、研究科では、アンケートの結果を授業改善に生かすために、さまざまな取り組みを行っています。

また、シラバスには授業改善アンケートによる気づきの欄も設けられており、授業の担当教員がどのような改善の努力を行っているかが分かるようになっています。

④ あなたの声を授業改善に

FD活動には、教員ばかりでなく、職員、学生の三者が問題意識を共有し、相互に意見交換をしながら組織的な活動を進めていくことが必要です。なかでも実際に授業に参加している皆さんの感想や意見は、教員に多くの「気づき」を与えるばかりでなく、大学全体の教育のあり方を考える上でも重要な手がかりを与えてくれます。改善点だけでなく、授業の良かった点や興味深かった点なども、是非聴かせてください。

授業改善アンケートを通じて、あなたの声を本学のFD活動に生かしてください。

授業改善アンケートシステム

ログインURL

<https://fdsur.c-learning.jp/s/>

スマートフォン用QRコード



ログインID: 学生証番号

初期パスワード: 生年月日の下4ケタ
(例: 1月1日は0101)

※システムへのログインは、
アンケート回答期間のみ可能となります。



「授業改善アンケートシステム」ログイン画面
スマートフォン・タブレット・パソコンそれぞれにあった見やすい
サイトを用意しています。利用しやすい端末から回答をすることが
できます。



文学部心理学科・人文科学研究科心理学専攻では、各教員がアンケートから得た「気づき」を文章化し、学生がよく利用する実習室わきに掲示して改善点を公開しています。

授業改善アンケートのチェックポイント

- ✓ アンケートの結果は、授業改善の組織的な取り組みのためのデータとして活用されます。授業改善に寄与するという自負をもって正確かつ責任ある回答を心がけましょう。
- ✓ 自由記述欄に書かれた皆さんの意見や感想は、そのまま担当教員に届きます。皆さんの意見や感想が授業改善に役立つよう、具体的な記述を心がけるとともに、読み手に不快感を与えるような表現や内容は慎みましょう。

i FD ってなに?

FDとは、Faculty Developmentの略語で、大学などの教育機関が教育の質を向上するために行っている取り組みをいいます。法政大学教育開発支援機構FD推進センターではFDを「“自由と進歩”の建学の精神に基づく教育理念と教育目標を達成するためになされる、教育および学びの質の向上を目的とした教員・職員・学生による組織的・継続的な取り組み」と定義しています。

レポートの書き方

HOW TO WRITE REPORTS

レポートを書く

大学においては、「講義を聴く」という受け身の姿勢だけでは、本当の意味で学んだことになりません。「自分で学び、考える」という能動的な学習をすることが大切です。

そのため、大学では学生にレポートを課することがしばしばあり、それが成績評価の対象となります。授業の種類等によってどのようなものが求められるかが異なりますが、基本的にレポートとは、「これまでの研究成果を参考にしながら、客観的事実やデータを分析し、自分の考察を述べるもの」です。レポートは、高校生までに書いてきた作文や感想文とは全く違うものですので、注意が必要です。

提出締切日までに、与えられたレポート課題の意図するところをよく考え、テーマにふさわしいデータ・資料を集め、分析し、執筆を進めなければいけません。ここでは、レポート提出までのおおよその手順について見ていきましょう。

① 与えられたレポートの課題をよく理解し、さらにテーマを絞り込む

与えられるレポート課題は抽象的であったり、漠然としたものであったりします。課題をもとに、どのような問題が重要かをよく考え、自分の主張したいことを絞り込む必要があります。また、提出書式や締切日、提出方法もあらかじめ確認しておきましょう。▶ P.41参照

② 図書館やインターネットで、先行研究等を収集する

テーマが決まったら、図書館やインターネットを利用して、先行研究等を収集します。これまでにどのような研究が行われているのかを確認するとともに、自分のレポートにとって必要なデータなどを集めましょう。

▶ P.54-61参照

③ 集めた情報を整理し、レポートの構成（章立て・節立て）を考える

自分のレポートに必要な情報を吟味しながら、レポートの骨組みを考えていきます。レポート・論文の場合、以下の「三部構成」が構成としてふさわしいものといえます。▶ P.42-46参照

序 論 このレポートが、何を明らかにするものであるかを提示します。

本 論 客観的な根拠をあげて、それに基づき、自分の主張を述べます。

結 論 全体のまとめを行います。

④ アウトラインに基づき、執筆を進める

実際にレポートを書いてみます。文章にしていくなにより、自分の考えが明確になると、意見を主張するためにどのような根拠が必要かが改めて見えてきます。上記①②③を見直し、修正していきながら書き進めていきましょう。▶ P.47-51参照

⑤ 文章の推敲を行ったり、指定された要項に合っているかどうか確認する

文章の推敲を行いつつ、指定された要項に合っているかどうか確認します。一度書きあがったら、冷静に読み返してみて、テーマが指定に即しているか、自分の考えが適切な根拠に基づき、分かりやすく説明できているか確認します。推敲にあたっては、主語・述語の対応を確認し、一文が長すぎないかどうかあらためて見直しましょう。▶ P.49チェックポイント参照

⑥ 指示された方法で、締切までにレポートを提出する

いくら優れた内容でも、指示された方法で締め切り日までに提出しなければ、評価されません。どこにどのように提出するか、また締切日・時間をよく確認しておくことが大切です。**指定された要項に字数制限・枚数制限があれば、それに従っているかも確かめましょう。**

レポート課題を吟味しよう！

レポートが課されたら、まずそのレポートで何が求められているかを確認しましょう。内容を考えるのはそこからです。

あるテーマについて、または自分でテーマを設定したうえで、調査して考察を加えて書くこともありますが、授業内容やある資料・文献についてまとめて内容を確認させるようなレポートもありますし、実験や実習などで得られたデータをまとめるものもあります。

その課題のゴールがどこにあるか、把握してから着手しましょう。

併せて、課題が出たら締切までにどのように調査や執筆を進めるか、計画も立てるといいですね。

アイデアのまとめ方 -レポート執筆の下準備-

あるテーマについてレポート課題が出されたら、いきなり書き始めるのではなく、まずは書くための準備作業に入りましょう。同じテーマであっても取り上げるトピックは人によって違うでしょうし、意見のまとめ方も異なるでしょう。どのようにアイデアをまとめるかは、多くの学生にとって大きな問題です。そこでアイデアをまとめる手法について、ブレインストーミングとクラスタリングという2つの方法を紹介することになります。いずれも欧米の大学ではごく普通に教えられているものです。

ブレインストーミング

BRAINSTORMING

テーマが与えられても、何をどのように書いたらよいか漠然としすぎて分からないということはよくあることです。そこで、そのテーマに関連したトピックについて、アイデアを出すことから始めます。その際に役立つ手法としてブレインストーミングが有名です。

ブレインストーミングは、少人数のグループでアイデアを出し合うときに用いられる方法ですが、レポートのアイデアをまとめる際にも活用することができます。

以下の4つのルールにしたがって、ブレインストーミングをおこないます。

①判断遅延

アイデアの良し・悪しは後で考えることにし、まずはアイデアを出すことに専念しましょう。

②自由奔放

突飛なアイデアであっても気にせずにアイデアを出しましょう。

③質より量

アイデアの質よりも量を重視し、たくさんのアイデアを出すように心がけましょう。

④結合改善

個々のアイデアを結びつけ、発展させましょう。新たなアイデアが浮かび上がるかもしれません。

ブレインストーミングの例

テーマ「情報収集の方法」

図書館、書架、レファレンスカウンター、参考図書コーナー、書籍検索、OPAC、データベース、検索、インターネット、オンライン、新聞記事、雑誌掲載論文、企業情報、...

思いつままに書き出してみる

実際のブレインストーミングでは、みんなでアイデアを出しながら、ホワイトボードにアイデアを書き留めていくというように進められることが多いのですが、一人でこんな場合、ノートなどにアイデアを思いつままに書き留めていくのがよいでしょう。このとき、あまり時間をかけずに5分とか10分とか時間を区切って、なるべく多くのアイデアを出すのがコツです

クラスタリング

CLUSTERING

ブレインストーミングの4番目のルールに、「結合改善」というものがありました。しかし、どのようにアイデアを結びつけたらよいのか、すぐには思いつかないかもしれません。そのような時に役立つのは、クラスタリング(ウェビングとかマッピングと呼ばれることもあります)という手法です。クラスタリングは、丸で囲まれたアイデアを線で結びつけることで、個々のアイデアがどのような関係をもっているのかを視覚的に表す手法です。

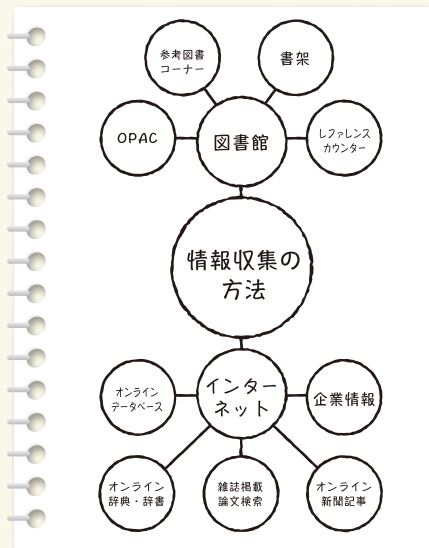
最初に、テーマとなるアイデアを紙の中央に書き、丸で囲みます。次に、関連するアイデアをその周りに書き出し、丸で囲んで中心のテーマと結びつけます。さらにそれらのアイデアに関連するアイデアをその周りに書き出し丸で囲んでいく、というようにして最初にブレインストーミングで絞り出したアイデアを配置していきます。このようにアイデアを結びつけることにより、新たなアイデアが浮かんだりもします。

クラスタリングの作業を通じて、問題の全体の構造を俯瞰したりすることができるようになります。最初に出されたアイデアには無駄なものも多く見つかるかもしれませんが、あるいは足りない部分があることに気がつくかもしれません。自分が思いついたアイデアが、一部に片寄っていることにも気がつくかもしれません。バランスよくアイデアを追加したり削ったりして、全体の構成をまとめていきます。

最後に、クラスタリングの結果をもとにレポートのアウトラインを作ってみましょう。きっと何の準備もなく書き始めるよりも、しっかりとした構成のレポートを書くことができるようになるはずです。

クラスタリングの結果をもとに
レポートのアウトラインを構成してみる。

クラスタリングの例



レポートのアウトラインの例

情報収集の方法

1. 図書館を使いこなす

- 1.1 OPACで検索
- 1.2 参考図書コーナーの利用
- 1.3 書架で探す
- 1.4 レファレンスカウンターで尋ねる

2. インターネットで文献検索

- 2.1 オンラインデータベース
- 2.2 オンライン辞書・辞典を引く
- 2.3 オンラインの新聞記事検索
- 2.4 書籍情報の検索
- 2.5 雑誌掲載論文の検索
- 2.6 企業情報の検索

レポートのアウトラインを構成する。



レポートの構成

レポート・論文では、特に指示がない場合、序論・本論・結論の「三部構成」とすることが一般的です。あくまでおおよその目安ですが、序論・本論・結論がそれぞれ、10～20%、70～80%、10%程度になるように構成するとバランスがよいでしょう。序論・本論・結論には、それぞれの役割があります。

▶ 序論

このレポートで検討しようとしている問いは何なのか、どうしてそれについて書くのか、テーマ設定の背景を読者に示します。また、その問いに対する答えを、これ以降の本論でどのような手順で明らかにしていくのかを示します。

▶ 本論

序論で提示した問いへの答えが、なぜ結論のような内容になるのか、その論拠を示します。通常、三部構成の中で最も長い部分になりますので、いくつかの章・節で構成するなど、文章の組み立てを工夫し、わかりやすく議論を展開します。

▶ 結論

序論で提示した問いに対するあなたの答えを示します。結論で示す答えは、序論で示した問いと対応していること、また、本論での論拠を受けて論理的に導かれた答えであることが求められます。

i 理系のレポート

理系のレポートと言えば、実験レポートは必須でしょう。基本的な構成は、上述の通りで構いませんが、実験レポートでは、3部構成をさらに分解し、5部構成程度にするのが一般的であろうと思います。

序論→ (1)実験の目的と概要

本論→ (2)実験に用いる装置、原理、(3)実験方法と結果

結論→ (4)結論、(5)考察

特に(2)、(3)では、実験内容とそこから得られた結果を結論を他の人に使えるように伝えるため、図や、数式の展開、グラフなどが必須です。

論証するには？

p.47で、段落においてトピックセンテンスを証拠として支えるサポーターセンテンス、その詳細としてサポーターディティールの文を置く、ということ学びます。

では、論を進めるうえでどのようなことが証拠となるのでしょうか。さらに論証、つまり論理的に証明するには何が必要でしょうか。論証の確かさは、一段落内でも、またレポート・論文全体の構造においても、その成否を決める鍵となります。

▶ 事実と意見の区別

レポートや論文を書く上で最も大切なことのひとつとして、「事実と意見を区別する」というものがあります。まずは、以下の文章が「事実」なのか「意見」なのか判断してみてください。

- (1) ボアソナード博士は、法政大学の学祖と言われている。
- (2) ボアソナード博士は、素晴らしい学者であった。
- (3) ボアソナード博士は、ドイツ人である。(※注: 本当はフランス人です)
- (4) ボアソナード博士は、日本の近代化に重要な役割を果たした。
- (5) ボアソナード博士は、陪審制度を推進しようとしていた。

事実とは、何らかの証拠によって検証が可能な事柄のことを指します。これに対し、意見とは、個人的な見解や信念のことで、必ずしも証拠によって検証ができない事柄を指します。

両者を区別するにはどうしたらよいでしょうか。それは「真偽を問えるかどうか」で判断することができます。もし真偽を問えるのであれば、それは事実ということになりますし、もし真偽を問えないのであれば、それは意見となります。一般に、「良い・悪い」「好き・嫌い」「おいしい・まずい」「美しい・醜い」などのように形容詞で表現される事柄は、意見ということになります。

難しいのは、「他人の意見はどうか?」ということです。実は、他人の意見は事実として扱うことができます。その人が本当にそのようなことを言ったのかどうかについては、「真偽」を問えるからです。

それでは「法政大学は国立大学である」というのは、事実でしょうか。これは間違ったことを述べていますが、「真偽を問えるかどうか」という判断基準に照らし合わせるならば、事実ということになります。日常会話では「事実」とは暗に「正しいこと」を指すことが多いのですが、間違ったことは「真偽」を問えるため、事実になります。

それでは最初の質問の答えを見てみましょう。

- (1) **事実** …実際に学祖と言われているかどうかを調べることで真偽を問えます。
- (2) **意見** …「素晴らしい」かどうかは、人によって評価が分かれるため、客観的に真偽を問えません。
- (3) **事実** …内容は間違っていますが、「真偽を問える」ことなので事実になります。
- (4) **意見** …重要かどうかは、人によって評価が分かれますので、客観的に真偽を問うことができません。
- (5) **事実** …ボアソナードは陪審制度を導入することで、治外法権を撤廃するためにプラスに働くことを確信していたそうです。

▶ 論証の根拠となるもの

学問分野やテーマによって、さまざまで事実やデータであったり、文献資料であったりするでしょう。いずれの場合でも、それが信頼に足る確かなものであるかを確認することが必要です。前のページ(p.45)「事実と意見の区別」に照らしていうなら、論拠になるのは「事実」のみです。

- ・論拠とする「事実」に誤りはないか。
- ・調査や実験などのデータは偏りの生じないよう適切な方法で得られたものであるかどうか。
- 他の文献やインターネットなどに掲載されているものを引用する場合は、その調査や実験方法の適切さを検討するとともに、そのデータが今なお有効か、時間が経って変化している可能性はないかも吟味することも重要です。
- ・データや「事実」は結論を導くのに十分な。
- ・文献資料では、それが制作された時点の大元にさかのぼって原本のかたち(一次資料)、あるいはそれにできるだけ近いかたち(信頼できる翻訳・翻刻など)であるかどうか、また信頼できるか。
- 二次資料・三次資料になると信頼性は下がります。

以上の諸点を確認したうえで用いましょう。

▶ 論証すること

適切な論拠に基づいて論を展開したとしても、そこに飛躍や不足があっては論証にはなりません。提示した論拠だけで、述べようとしていることが本当にそっくり得るのかどうかを確認しなければなりません。たとえば、大学生についての調査データを提示して、現代の若者についての論を展開したとします。しかし「若者」には大学生でない人びとも多く含まれているわけで、大学生だけのデータでは不十分でしょう。あるいは、たとえば「法政大学のえこびょんは、これから学外でも人気が出るだろう」と述べるにあたって、えこびょんが本学でとても人気があることを述べるだけでは不十分です。前提として、ゆるキャラブームがあること、えこびょんもその一つであることも必要な情報です。

論拠の不足はないか、論に飛躍はないか、しっかりと確認しましょう。

▶ 反対の主張や例外はないか

あなたが述べようとしていることに反する主張や事実がないかどうかをあらかじめ検討し、もしあれば提示し、論駁したり、例外として示したりしておきましょう。読む側の立場からみれば、別の可能性があらかじめ否定されていることで、主張の説得力が大きく高まります。

▶ 主張の確かさには段階がある

世の中、すべてを白か黒かでは語れないように、学術的な主張にも、100%の確かさでいえることもあれば、80%ほど、60%のこともあります。あるいは30%くらいの可能性しかない事実を指摘することもあるでしょう。「必ず」「すべて」なのか、「ほとんどの／たいいていの場合」、「多くの場合」、「ときには」、「まれに」などと、どのような確率でいえるのか、慎重に提示しましょう。文末でも、「である／いえる」とするのか、「であろう／いえよう」とするのか、あるいは「あり得る」とするのかといった主張の強弱に注意して書きましょう。



アカデミックライティングの基礎 - パラグラフとは -

大学における学術的な文章の書き方をアカデミックライティングといいます。アカデミックライティングはレポートの書き方の基本であり、作文、エッセイあるいは新聞記事の書き方は異なっています。パラグラフは3つの構成要素から成り立ちます。次の例で考えてみましょう。

例文

夏目漱石門下の学者野上豊一郎は、法政大学史上、二つの点で重要である。第一に、本学が総合大学となるにあたって予科の中心となって多くの優れた教員を集めたことである。たとえば作家内田百閒や倫理学者和辻哲郎らである。そして漱石ゆずりの野上の自由で批判的な精神が、本学の「自由と進歩」の学風の基礎となったのである。学生が主導して校歌が作られたのもこの時代である。野上の第二の重要な役割は、戦後最初の総長として、軍国主義的な体制を一掃したことである。人脈を生かして、リベラルで民主的な学者たちを本学に集め、戦後の復興を主導した。野上自身は志半ばに急逝するが、彼の事績が次の大内兵衛総長時代に本学が飛躍的な発展をみる下地となった。要するに、野上豊一郎は本学が今日のような「自由と進歩」の大学となるうえで大きな功績があったといえる。

上の例のパラグラフにおけるTS, SS, (SD) およびCSの関係

(TS) 夏目漱石門下の学者野上豊一郎は、法政大学史上、二つの点で重要である。	TS トピックセンテンス パラグラフにおける中心的アイデアを述べる文です。それはトピックが何であるかを述べるだけでなく、1つのパラグラフ内で完結する特定トピックに話題を限定する役割をもっています。トピックの範囲を限定する記述をコントロールング・アイデアといいます。
(SS1) 第一に、本学が総合大学となるにあたって予科の中心となって多くの優れた教員を集めたことである。 (SD1) たとえば作家内田百閒や倫理学者和辻哲郎らである。 (SS2) そうして漱石ゆずりの野上の自由で批判的な精神が、本学の「自由と進歩」の学風の基礎となったのである。 (SD2) 学生が主導して校歌が作られたのもこの時代である。 (SS3) 野上の第二の重要な役割は、戦後最初の総長として、軍国主義的な体制を一掃したことである。 (SD3) 人脈を生かして、リベラルで民主的な学者たちを本学に集め、戦後の復興を主導した。 (SD4) 野上自身は志半ばに急逝するが、彼の事績が次の大内兵衛総長時代に本学が飛躍的な発展をみる下地となった。	SS サポートセンテンス トピック・センテンスを展開する複数の文です。これらの文は理由、例、事実、数値、引用した情報を用いることによりトピック・センテンスを説明(補強)します。
(CS) 要するに、野上豊一郎は本学が今日のような「自由と進歩」の大学となるうえで大きな功績があったといえる。	SD サポートディテール 細かい内容説明はさらにSDで補足します。
	CS コンクルーディングセンテンス パラグラフの終わりを示し読者に重要な点を記憶させておく文です。内容はTSと同じでなくてはなりません。

TS例：夏目漱石門下の学者野上豊一郎は、法政大学史上、二つの点で重要である。

トピック

コントロールング・アイデア

!! トピックセンテンスの重要性

よく書けているパラグラフはトピックセンテンスを含んでいます。多くの場合、トピックセンテンスはパラグラフの最初の文であり、パラグラフで最も重要な文です。トピックセンテンスによってそのパラグラフが何を論じようとしているのかがはっきりします。このため、トピックセンテンスは読み手にとっても、書き手にとってもパラグラフを理解する上でのガイドとなるのです。書き手にとってはどんな情報を含めるべきかが明らかとなり、読み手にとってはパラグラフが何に関するものなのかを理解するための準備ができるわけです。

理解しやすいパラグラフ構造は、大学のレポートだけではなく、就職活動のエントリーシート、また就職後も社内のレポートを書くときなどにも効果的です。大学生でいううちにマスターしておきたいスキルです。

先行研究の適切な引用と自論との区別

論述は、これまでの研究で明らかになっていること、論じられていることを引用しながら進めます。適切な資料(先行研究)の引用は、レポートで自論を補強・強化するための重要な役割を果たします。引用する文・段落は、自分の主張と引用先の著者の主張を明確に区別するため「」でくくって、あるいは、長い場合は2字下げで、数行にわたって、原文通りに提示します。また、要約して掲げ、「～と○○は指摘している」など書く場合もあります。いずれの場合でも、自論との区別のない引用や、限度を超えた引用は、剽窃(下記コラム参照)としてとらえられる可能性もあります。引用の扱いには、十分注意しましょう。

引用・参照した文献は、レポートの最後に引用文献・参考文献などとして挙げ、読者が資料を調べ確認できるように引用先の著者名、タイトル、出版社、出版年、ページ番号なども明記しましょう。適切な引用が自論の信頼性を強化することになります。

また引用で、してはいけない行為として「孫引き」があります。これは「引用の引用」とも言われ、他の文献に引用されたものを原典にさかのぼり調べることなく、そのまま引用することです。このような行為もしてはいけません。引用に誤りがあるかもしれませんし、引用先の著者の主張である原典の前後の文脈などを考慮することなく自論を展開することは、結果として誤解による的はずれな主張を行ってしまうことがあるなど、様々な問題があるためです。必ず、原文にあたって確認しましょう。

剽窃 - ひょうせつ -

PLAGIARISM

提出されるレポートの中には、残念ながら、参考資料をただ丸写ししたものやインターネットで見つけたサイトをコピー＆ペーストしただけのものも見受けられます。こうした行為は「剽窃行為」(plagiarism)といい、絶対にしてはならないことです。

他人の説をあたかも自分の説であるかのように述べるのは、学問の世界では許されざる行為であり、著作権法上の問題も生じます。自分の主張と参考にした文献からの引用は明確に分けて表記し、引用部分については何から引用したのかを明示しなければいけません。その示し方は、学問分野や書式(縦書きや横書きか、また和文か欧文か等)によって異なりますので、自分のレポートにあった形で適切に記す必要があります。レポート執筆の際、参考にした論文等ではどのように文献の引用をしているのか、またどのようにその出典を明示しているかを確認して、内容だけではなく、その書式も学び、自分のレポートに活かしましょう。

自分自身の力を信じて、
キミにしか書けないレポートを書こう。



!! 剽窃・カンニング等の不正行為を行った学生に対し、大学は厳正に対処しています。

接続表現を適切に使って 論理的に文章を組み立てよう

解説する

つまり・すなわち・要するに(要約)、言い換えれば(換言)

根拠を示す

なぜなら・というのも・その理由は(理由)

結論を導く

よって・したがって・それゆえ(帰結)

*「それで」「だから」は、レポートで用いるとやや稚拙に見えます。「なので」は接続詞ではありません。

例を出す

たとえば・具体的には・例として(例示)

付け加える

そのうえ・さらに・くわえて・しかも・また(付加)

むしろ(否定後の選択)

なお・ただし・もっとも(補足／制限)

流れを変える

だが・しかし・けれども・ところが・にもかかわらず・それでも・とはいえ・とは言うものの(逆接)

*この場合後ろに来る方に比重が置かれる

一方・他方・それに対して・反対に(対比)

ところで・さて(転換)

!! レポート提出前のチェックポイント

- ✓ 出された課題に即した内容になっていますか。
- ✓ 序論で提示した主題と結論は対応していますか。
- ✓ 論理構成に矛盾はありませんか。
- ✓ 1つのパラグラフにいくつもの事柄が書かれているところはありませんか。
- ✓ すべてのパラグラフ冒頭が1字下げになっていますか。
- ✓ 参照・引用したすべての資料について、出典を明記してありますか。
- ✓ 出典を示すのに必要な情報をすべてもらさず書いてありますか。
- ✓ 参考文献の内容と自分の主張は区別して提示できていますか。
- ✓ 誤字・脱字はありませんか。
- ✓ 文体は「だ」「である」調で統一されていますか。
- ✓ 主語と述語はきちんと対応していますか。
- ✓ 長すぎる一文はありませんか。
- ✓ レポートにふさわしくない言葉遣い(口語・俗語)はありませんか。
- ✓ 各ページにページ番号を付けましたか。
- ✓ 提出日、科目情報、レポートのテーマ、自分の学部、学年、学生証番号、氏名などが記入されていますか。
- ✓ 指定された書式(表紙の有無、ホチキスどめの有無も要確認)、分量、用紙になっていますか。
- ✓ 提出する場所・日時・方法(紙か、web・メールなどか)をもう一度確認しましょう。

レポートの文章術

▶ 普遍妥当性を目指す

レポートや論文は、言語や文化の違いを超えて理解されること、つまり普遍妥当性を目指します。したがって、たとえ発想の根本に個人的な体験や思い入れがあっても、それらを直接表現することは控え、主張には客観的な根拠を挙げる必要があります。これが、作文や感想文との大きな違いの一つであるともいえます。作文では無根拠に「私は…と思った」と書いても許されますが、レポートでは違います。普遍妥当性を目指すには、そういう個人的な体験や感情を客観化・抽象化し、論拠を常に提示していくことが必要です。たとえば、「私は○○だと思う」は、「○○と思われる。なぜなら…」 「…である。ゆえにそれは○○ではないか」といったかたちになります。つまり、主語を「I」ではなく「It」（形式主語）として考え、心情ではなく論理によって考えるのが論文の思考法だといえます。

※先行文献や引用を示す時などに人名を出す場合は、たとえ恩師であっても、敬称はつけません。

私は○○~~だ~~と思う ○○と思われる。なぜなら…
…である。ゆえにそれは○○ではないか

▶ 常体文を使用・表現に変化を

レポートでは原則として常体文（だ・である体）を使用します。「である」で止めるのが普通ですが、文末がすべて「である」だと単調になりますので、工夫が必要です。たとえば、レポートや論文では、以下のような文末がよく使われます。体言止めは使わない方がよいでしょう。

【～であろう。／～といえる。／～といえよう。／～と考えられる。／～と推測する（できる）。】

またレポートや論文は現時点での考察として示すものですから、「考えた」などと過去形で書くのではなく、現在形で書くのが基本です。

同様に、原則として同じ言葉を安易に何度も使わないようにします。特に大切なキーワードであればやむを得ませんが、一般的な語なら類語を探して繰り返しを避けましょう。連続した文に逆接を重ねることとはもちろん、一文中に「……が、……が、…」と、逆接をくり返すのは厳禁です。

▶ 「話し言葉の乱用」には注意!

近年特によく見られるのは論文での話し言葉の乱用で、これは書き手自身が気づいていない場合が多いようです。たとえば接続詞ですが、つぎのような口語的表現は、後に示したような表現に直しましょう。「なので×→だから・それで△→したがって○」（順接）、「けど×→けれど・でも△→けれども・しかし・だが・にもかかわらず○」（逆接）。他に、「いまいち→いま一つ」「じゃない→ではない」などが目立ちますので要注意です。そうかと思うと、変に凝った言い回しをしたり、故意に難しい漢字を使いたがったりする人もいます。文章は分かりやすく、平易に書くことをまず心がけましょう。

▶ 難読漢字は避けて、読みやすさを優先!

難読漢字・形式名詞（もの・こと・ところ、など）・副詞・連体詞などは、すべて原則としてひらがなで書きます。難読漢字は基準が難しいものですが、一般的でない難語をあえて使う必要はありません。ワープロソフトで文章を作成する場合、簡単に変換できるので、普段使わない漢字をわざわざ使う人が増えてきたように思います。「雁字搦め」「所謂」や「出来る」「無い」、「ということ」「というもの」の意味で使われる「こと」「もの」などは、ひらがなで表記します。

副詞は、「たとえ……でも」「もし……ならば」「まったく……ない」のような呼応の場合も、「もちろん」「かりに」「たとえば」「あるいは」などでも、連体詞では「この」「あの」「ある」など、すべてひらがなで表記することが現代では一般的です。

▶ 「たり」「とか」「の」

「たり」「とか」は、並列するものが複数あるときにしか使いません。その際、「走ったり飛んだり」「携帯電話とかコンピュータとか」というふうには繰り返して使います。「今の子はすぐ『やばい』とか言ったりするけど」という言葉が普通に感じられたら要注意です。

助詞の「の」は特に注意が必要です。「の」には単純な“of”の意味以外にも様々な使い方があります。「社会構造の変化の速度の問題」というふうには、つい多用してしまいがちですが、「社会構造における変化の速度に関する問題」となどと言いかえましょう。

▶ 文章を見直そう!

一度書き上げた文章は読み直して、文章として問題がないか確認しましょう。内容や体裁のチェックポイントはp.49のとおりですが、文章表現としてはとくに以下の点に注意して推敲しましょう。

・読点の位置は適切か?

読点は意味の切れ目を意識して付けます（息継ぎしたい場所ではありません）。「新しい留学生のためのプログラム」「新しい、留学生のためのプログラム」のように読点によって意味が変わる場合もあるので要注意です。

・長すぎる文章はないか?

接続表現が3箇所以上あるような文、3行以上にわたる文は、途中で切れるところはないか検討し、2文に分けましょう。

・主語―述語の対応にねじれはないか。

長い文章になると、主語と述語の対応に問題が生じることが多くなります。「この論文で指摘していることは~~~~~と述べている」「この問題の原因としては~~~~~によるものである」のような文章を書いていませんか。

以上、よく見かける気になる表現を挙げました。大学生に相応しい、知的で論理的な文章が書けるように、語彙を増やし、表現力を磨いていきましょう。

レポート書式の例

レポート書式には、注のつけ方によって大きく二種類の書式があります。大まかにいえば、①補足説明と文献情報とともに「注」として扱う方法と、②これらを別々に扱う方法です。以下にそれぞれの例を、例①、例②として紹介します。

レポート書式の例① ▶▶▶ 補足説明と文献情報とともに「注」として扱う方法

提出日：2016年7月10日

2016年度春学期科目「言語学概説I」(月曜・1限)レポート

インターネット上の書き言葉

××学部△学科 1年1組 14x0123 法政太郎

インターネット上には、無数の言葉がまさに蜘蛛の巣のように張り巡らされている⁽¹⁾。グローバルなコミュニケーション空間では、英語(米語)が「公用語」となっているように見えるが、以下のような指摘もある。

一方、インターネットの世界的普及は、必ずしも文化の画一化やアメリカ化の促進だけを意味するものではないという見方もある。反対に少数民族の文化やマイノリティ集団に対し、それぞれの自己表現の機会を提供するものであるとするのである⁽²⁾。

また、「ブログ検索サービスを提供する米テクノラティが4月5日に発表した調査結果によると、2006年第4四半期は投稿数で日本語ブログが世界最多だった」⁽³⁾という記事もあり、実態としては、母国語によるインターネット利用が中心で、いわば言語別のコミュニティが形作られているのではないかと考えられる。

さて、インターネットでは音声も動画も配信できるが、現在のところ、文字による情報発信やコミュニケーションが基本であるといっていよう。しかし、そこでは単純に「書き言葉」とはいえない多種多様な言葉遣い、一般的な書き言葉というよりも話し言葉に近い、独特な「書き言葉」が使われる傾向がある。たとえば、田中⁽⁴⁾によれば…

はできないだろう。そして研究方法の上でも、WWWのコーパス化以外に、インターネットは言語研究に新たな世界を切り拓く可能性を秘めていると考えられる。

注

(1) インターネット上のウェブシステムを指す「World Wide Web(WWW)」という語に使われ、その略称でもあるWeb(ウェブ)という言葉は、もともと「蜘蛛の巣」を意味していたが、ハイパーリンクによって、ページやファイルのつながる様子が蜘蛛の巣のようであるため、インターネット用語としても用いられるようになった。

(2) 上村圭介・原田泉・土屋大洋(2005)「インターネットにおける言語と文化受容」、NTT出版、p. 3。

(3) 武部健一(2007)「記者のつぶやき—英語を超えた日本語ブログの投稿数、その理由は?」、ITpro(日経BP社)、http://itpronikkeibp.co.jp/article/COLUMN/20070411/268068/、2014年1月17日取得、第一段落。

(4) 田中久美子(2008)「ケータイ小説の表現は美しいか」「国文学・解釈と教材の研究」53(5)、pp. 38-45。

(5) Biber, D. et al. (1998), *Corpus Linguistics: Investigating Language Structure and Use*, Cambridge University Press, pp. 154-155.

(6) 萩野眞秀(2008)「WWWをコーパスとして利用する研究—文系と理系の観点から—」『日本語学』27(2)、pp. 4-9。

(総字数 2015字)

例①の書式では、このように注番号をつけ、その箇所に関する補足説明や引用・参照した出典を、各ページ下(脚注)またはレポートの最後に(後注)まとめて記します。ワープロソフトには脚注機能がありますので活用しましょう。

雑誌論文を引用・参照した場合は、著者名、発行年(月)、論文名、雑誌名(発行所名)、巻号、引用・参照ページを記します。

洋書の場合、書名は斜体(イタリック)で書きます。

はじめに、提出日、科目、開講曜日・時間、レポートのテーマ、自分の学部(学科)・学年・クラス・学生証番号・氏名を必ず書くこと。1枚目は表紙にして、そこに記載するよう指示する教員もいます。

単行本から引用・参照した場合は、編著者名、発行年(月)、書名、出版社名、引用・参照ページを記します。

字数指定がある場合、総字数を書いておきましょう。

で示す内容は、両書式に共通する注意事項、で示す内容は、各書式に特有の注意事項です。なお、これらはあくまで一例であり、学問分野ごとに書式が異なります。レポートごとに所定の書式がある場合は、それにしたいがよいでしょう。

レポート書式の例② ▶▶▶ 「注」は補足説明のみとし、文献情報は別に扱う方法

提出日：2016年7月10日

2016年度春学期科目「言語学概説I」(月曜・1限)レポート

インターネット上の書き言葉

××学部△学科 1年1組 14x0123 法政太郎

インターネット上には、無数の言葉がまさに蜘蛛の巣のように張り巡らされている。グローバルなコミュニケーション空間では、英語(米語)が「公用語」となっているように見えるが、以下のような指摘もある。

一方、インターネットの世界的普及は、必ずしも文化の画一化やアメリカ化の促進だけを意味するものではないという見方もある。反対に少数民族の文化やマイノリティ集団に対し、それぞれの自己表現の機会を提供するものであるとするのである。(上村ほか2005:3)

また、「ブログ検索サービスを提供する米テクノラティが4月5日に発表した調査結果によると、2006年第4四半期は投稿数で日本語ブログが世界最多だった」(武部2007:第1段落)という記事もあり、実態としては、母国語によるインターネット利用が中心で、いわば言語別のコミュニティが形作られているのではないかと考えられる。

さて、インターネットでは音声も動画も配信できるが、現在のところ、文字による情報発信やコミュニケーションが基本であるといっていよう。しかし、そこでは単純に「書き言葉」とはいえない多種多様な言葉遣い、一般的な書き言葉というよりも話し言葉に近い、独特な「書き言葉」が使われる傾向がある。たとえば、田中久美子(2008)によれば…

はできないだろう。そして研究方法の上でも、WWWのコーパス化以外に、インターネットは言語研究に新たな世界を切り拓く可能性を秘めていると考えられる。

注

(1) インターネット上のウェブシステムを指す「World Wide Web(WWW)」という語に使われ、その略称でもあるWeb(ウェブ)という言葉は、もともと「蜘蛛の巣」を意味していたが、ハイパーリンクによって、ページやファイルのつながる様子が蜘蛛の巣のようであるため、インターネット用語としても用いられるようになった。

参考文献

Biber, Douglas, Susan Conrad, Randi Reppen, 1998, *Corpus Linguistics: Investigating Language Structure and Use*, Cambridge: Cambridge University Press.

上村圭介・原田泉・土屋大洋, 2005, 「インターネットにおける言語と文化受容」NTT出版.

萩野眞秀, 2008, 「WWWをコーパスとして利用する研究—文系と理系の観点から—」『日本語学』27(2): 4-9.

武部健一, 2007, 「記者のつぶやき—英語を超えた日本語ブログの投稿数、その理由は?」, ITpro(日経BP社), (2014年1月17日取得, http://itpronikkeibp.co.jp/article/COLUMN/20070411/268068/).

田中久美子, 2008, 「ケータイ小説の表現は美しいか」『国文学・解釈と教材の研究』53(5): 38-45.

(総字数 2015字)

例②の書式では、注番号をつけるのは補足説明のみとし、引用・参照した文献は、本文中の適切な箇所にカッコ書き等で明記します。

2文以上の長い引用は、上下を1行ずつ空け、左から2字下げで記します。

引用部分の後には、出典を(著者名 出版年: ページ)と明記します。

「注」は補足説明のみとし、別に「引用文献」や「参考文献」の項目を立て、そこに出典をまとめます。文献は、著者の姓のアルファベット順にリストアップします。この例では、Biber, Kamimura, Ogino, ... の順となります。

短い引用は、カギカッコでどこからどこまで引用であることを明確に示します。

直接の引用ではなく、文献の内容を自分の言葉でまとめおいた場合は、このように当該部分の出典を明記します。文献内容に言及した後、以下のように出典を明記する方法もあります。

田中久美子によれば、…である(田中 2008)。

サイト上に掲載された情報を引用・参照した場合は、著者名、最終更新年、ページタイトル、サイト名、取得(アクセス)した日付、URLを記します。

情報収集から考察へ

FROM INFORMATION GATHERING TO CONCLUSIONS



インターネットが広く普及した今、情報収集は手軽になりました。わからないことがあったらスマートフォンで調べてみるというのは、すっかり日常生活の一部になっているのではないのでしょうか。一昔前では、情報を入手すること自体に大きな意味がありました。しかし、情報を容易に入手できるようになった今だからこそ、入手した情報から何を考えるのがますます重要になってきています。

前述のとおり、大学ではレポートを作成したり、プレゼンテーションをしたりする機会が増えてきます。また、学部によっては卒業論文やゼミ論文の提出が課されています。さらには、就職活動時にエントリーシート等の作成も求められることでしょう。充実した大学生活を送るためには、質の高い文章を書くことを意識せざるを得ません。

では、質の高い文章を書くためにはどうしたら良いのでしょうか。最もやってはいけないのは、ネットから入手した情報を安易に貼り付けることです。考察することなくコピーして貼り付けていては、良い評価を受けることができないばかりか、剽窃を疑われることすらあります。必要なことは入手した情報からしっかりと考察することです。

とはいえ、まずは自分の取り組むテーマに関する先行研究や、自分の考えの論拠となる資料やデータについて情報をつかむことが出発点になります。その際、信頼のおける情報をどれだけの確にかつ効率よく集められるかが重要になってきます。そして効率よく的確な情報を集めることができれば、じっくりと考える時間をより長くとれるようになります。

図書館を使いこなそう！

インターネットを使って収集した情報が有用な場合もありますが、自分の欲しい情報を効率的に集めるのは案外難しいものです。そのため、図書館を上手に使いこなすことがまだまだ必要とされています。事実として、大学で充実した学生生活、研究生を送れるか否かは、「知の集積」である図書館と上手につきあえるかどうかにかかっているといっても過言ではありません。図書館を使いこなすには、その雰囲気慣れることが一番の近道です。とにかくまずは図書館に行ってみましょう！

法政大学図書館は、＜市ヶ谷図書館＞＜多摩図書館＞＜小金井図書館＞と各キャンパスにあります。所属学部にかかわらず、本学学生はどのキャンパスの図書館でも利用可能です。



市ヶ谷図書館

市ヶ谷図書館 ——— 80年館地下4階～地上2階、富士見坂校舎1階、市ヶ谷田町校舎5階（閲覧室）

多摩図書館 ——— 3号館地下2階～4階

小金井図書館 ——— 南館地下1階・1階・3階

図書館は開架、閉架に分かれており、開架には一般向けの資料が、閉架にはより専門的な内容を持つ資料が置かれています。いずれも直接書架に行って利用することができますが、閉架書庫の資料や貴重書を利用する時は、各図書館カウンターで利用方法を確認してください。

法政大学図書館公式サイト <http://www.hosei.ac.jp/library/>

図書館利用のチェックポイント

- あなたの読みたい本は、図書館にありますか？ 法政大学図書館に必要な本があるか、その本が貸出中でないかどうかは、インターネットを使って自宅からも調べることができます。
- 返却期限の過ぎた本はありませんか？ 学部生への館外貸出は10冊まで、期限は2週間（雑誌は1週間）です。
- 延滞中の本がある場合は、貸出や予約・取寄せはできません。
- 図書館は開いていますか？ 休館日や開館時間については、法政大学図書館公式サイトの中の「開館日程」を参照してください。
- 学生証を携帯していますか？ 図書館に入るには、学生証をゲートに通すことになっています。本の貸出にも学生証が必要です。資料によっては図書館ではなく、研究所や学部資料室に所蔵されているものもあります。その時は、図書館のカウンターで利用方法をたずねてください。

① 自分に必要な資料が決まっている場合

教員から与えられた課題によっては、参考資料が指定されていることがあります。そうした時には図書館の蔵書検索システムOPAC(オパック: Online Public Access Catalog)を使って、その資料が大学の図書館にあるかどうか探してみましょう。

法政大学図書館OPACで検索する

オパック
OPAC <http://opac.lib.hosei.ac.jp/> (パソコン・スマートフォン)
モバイル オパック
Mobile - OPAC <http://m.lib.hosei.ac.jp/m/> (携帯電話)

法政大学図書館OPACは、資料探しの必須ツールです。各図書館のOPACコーナーで利用できる他、自宅のパソコンやスマートフォン・携帯電話からでも、上記のURLにアクセスして利用することができます(図書館のトップページから「OPAC法政大学蔵書検索」というバナーをクリックしてもアクセスできます)。

OPACでは、タイトル、著者名、出版者等のキーワードを用いて、大学図書館内の全資料を横断的に検索できます。検索結果には、書名、所蔵館、配架場所、請求記号等のほか、資料によっては目次・あらすじも表示されます。検索結果をプリントアウトしたり、メモをとったりして、必要な情報を手に入れたら、資料の配架場所に向かい、必要に応じて閲覧室で読んだり、館外に借り出したりしましょう。

OPACには資料検索の他、以下の機能があります。

資料の予約

利用したい資料が貸出中の場合、次の利用を予約できます。

資料の取寄せ

利用したい資料が他キャンパスの図書館にある場合、自分の希望する図書館で受け取ることができます。ただし、大学紀要や新刊雑誌等は、カウンターで取り寄せて申し込んでください。

貸出予約照会

現在借りている資料や返却期限等が確認できます。

貸出期間の延長

資料の貸出期間の延長ができます(図書のみ3回まで)。

法政大学図書館では、学生の皆さんの学習支援をしています。

- 図書館ガイダンスの開催
- 図書館公式サイトでの情報提供
- パスファインダー(調べ方の近道ガイド)の発行
- ゼミサポート制

これらの他、さまざまなイベントや企画を行っていますので、積極的に利用しましょう。詳しくは、公式サイトや掲示を見てください。

② 自分の必要とする資料が具体的にわからない場合

OPACからヒントを得る …

必要な資料がピンポイントでわからないような場合にも、前述のOPACは有用です。OPACでは書名検索のほか、キーワード検索、著者検索、出版者検索ができます。また、図書や雑誌のほか電子ブックや電子ジャーナルを横断的に検索することもできます。これらを使えば、資料の正確な題名がわからなくても当たりをつけることが可能です。ただし、簡単なキーワードを用いると関係のないものまで検索されてしまいます。あらかじめインターネットを使って必要な資料を調べておいたり、キーワードを絞り込んでおくことをおすすめします。

「参考図書」からヒントを得る …

ゼミのプレゼンテーションや卒業論文の場合、またレポートによっては、テーマを自分で設定したり、参考資料が指定されていないために、読まなければいけない資料は何かということを自分で考えることから始めなければならない場合もあります。そんな時はまず、図書館の「参考図書コーナー」に行ってみましょう。参考図書(レファレンスブック)とは「調べ物をするための資料」です。ここには、基本的な知識情報を得るための図書(辞典やガイドブック等)や資料を探すための図書(索引等)が置かれています。こうした参考図書から基本的な知識を得て、どのような方針で調べるか見通しを立ててみましょう。テーマに関わるようなキーワードが見つけ出せたら、OPACで検索して、自分に必要な図書を探し出すことができます。

各図書館の参考図書コーナー(以下の他、閉架書庫にも配架されています)

●市ヶ谷図書館: 80年館地下1階 ●多摩図書館: 3号館1階 ●小金井図書館: 南館1階

※参考図書は、館外貸出はできません。図書館の中で利用してください。

書架に直接行く …

自分に必要な資料の題名等が具体的にはっきりしていない場合でも、その分野が決まっていれば、直接書架にいった探すという方法もあります。図書館の資料はその内容によって、日本十進分類法(NDC)で分類されています(一部の資料は法政大学図書館分類法によります)。自分の知りたい分野が配置されている書架に行き、実際に資料を確認しながら探してみましょう。関連した資料はまとめて配置されていますので、比較的、網羅した形で資料を手に入れることができます。

書籍・論文の「参考文献」「脚注」の活用 …

テーマはざっくりと決まっているけど、何を讀んだらよいのかわからない、という場合には書籍や雑誌掲載論文の「参考文献」や「脚注」を活用するという方法もあります。特に、学術的な書籍や雑誌掲載論文には必ずと言っていいほど「参考文献」の一覧や「脚注」が収録されています。まずはテーマから浮かぶキーワードを元にOPACで資料を検索し、その資料を手にとって「参考文献」や「脚注」を見てみましょう。すると、その先に読むべき資料がきっと見つかるはず。とくに、卒業論文など専門的な内容で執筆しようとする、先行研究に対する理解は欠かせません。良質な先行研究を効率的に見つけるためにも「参考文献」や「脚注」のチェックは避けて通れません。ネットでやみくもに検索するよりも効率的に的確な資料を探せますよ!

レファレンスカウンターを利用してみよう!

レファレンスカウンターとは、図書館の「相談窓口」です。図書館員の人たちは、図書館利用・資料検索のプロ。図書館を効率よく利用し、欲しい情報を探し出す方法を、親切かつ的確にアドバイスしてくれます。図書館を利用して困った時には、気軽に質問したり、相談したりしてみましょう。

場所 ●市ヶ谷図書館: 80年館地下1階 ●多摩図書館: 3号館1階 ●小金井図書館: 南館1階

インターネットで情報収集—信頼できるサイトの見分け方—

インターネットは情報を収集したり発信したりするのにとても便利です。しかしネット上には大量の情報が溢れている中、信頼性に劣るサイト、間違った情報を発信するサイト、他人を騙そうとするサイトもたくさん混在しています。

授業の課題やレポート作成の際の情報収集

ブラウザからGoogleなどで検索をすると、Wikipedia(ネット版百科事典)など情報を提供してくれるいくつかのサイトにいきつくでしょう。情報を収集するのにインターネットはとても便利な手段です。とくに、速報性という点ではネットに勝る媒体はないといってもいいでしょう。しかし一方で、ネット上には誤った情報や信頼性に劣る情報も少なくありません。たとえば、ネット版の百科事典ともいえるWikipediaにしても、間違いが発見されることが後を絶ちません。また、ソーシャルメディアが普及した現在では、口コミ情報など偏った情報や信頼性に劣る情報が氾濫しています。そのため、GoogleやYahoo!などの検索エンジンで調べた結果を安易に用いることはおすすめしません。

では、ネット上の情報の信頼性を判断するには、どうしたらよいのでしょうか?これはなかなか難しい問題です。一つのコツは、できるだけ一次資料や出典を確認することです。たとえばWikipediaならば多くの項目に「参考文献」や「脚注」が記されています。これらの資料を原本にあたって確認することで、信頼性を判断することができます。その際、上述したOPACを活用して、一次資料を図書館で入手し、そちらを参照すれば良いのです。つまり、ネットと図書館の双方をスマートに活用していくことこそが、効率的な文献探しへの近道ともいえます。

授業の課題やレポート作成で言葉の意味を調べたい場合には、次のページで紹介しているような法政大学図書館のホームページからアクセスできる百科事典などのデータベースをまずは参考にしましょう。より詳しいデータを収集したい場合には、個人が開設しているブログのようなサイトではなく、できるだけオリジナルのデータを提供しているサイトを参考にしましょう。国の省庁、研究機関、学会、自治体、企業などの公式サイトは信頼できるサイトといえます。

以下の①～⑤は法政大学図書館の公式サイトからアクセスできます。

① オンラインで辞書や事典を引く

日本大百科全書、日本国語大辞典、ランダムハウス英和大辞典などの百科事典や辞書、会社四季報や週刊エコノミストなどの情報・ニュースなど約50種にも及ぶコンテンツが利用できる「Japan Knowledge Lib」や、ブリタニカ国際大百科事典やブリタニカ国際年鑑などが利用できる「Britannica Online Japan」などがあります。

② オンラインで新聞記事を読む

朝日新聞、読売新聞、毎日新聞、日本経済新聞など国内主要紙の記事検索データベースのほか、London Times紙の1785年の創刊から1985年まで200年間の全紙面を検索できる「THE TIMES Digital Archive」、New York Times紙の1851年の創刊から最新号までを検索・閲覧できる「ProQuest」などのデータベースがあります。

③ 書籍の検索

法政大学図書館OPACでは本学の図書館に所蔵されている資料を検索します。本学以外の図書館の蔵書は、下記のデータベースで調べることができます。

サイニー

CiNii Books

全国の大学図書館(そのほか研究機関、一部の公立図書館も)が所蔵している学術図書、雑誌を横断検索できます。法政大学OPACの画面にも検索ボタンがありますので適宜利用しましょう。

NDL-OPAC

国立国会図書館が所蔵する文献を検索することができます。日本国内の出版物は国立国会図書館に納めなければならないという「納本制度」があるので、国内で刊行されているものについて、網羅的に調べることもできます。

bookplus

1926年より現在までに出版された本の情報、約400万件を検索できます。絶版書・非流通本なども多数収録しています。1986年以降の本には、要旨・目次情報、小説のあらすじも収録されています。2000年以降の本には、著者紹介情報も掲載されています。

!! オンライン・データベースを使ってみよう!

法政大学図書館の公式サイトトップページにある「オンライン・データベース」のコーナーには、学習や研究に役立つ情報がたくさん詰まっています。ぜひアクセスしてみましょう! ここではその中のいくつかを紹介してみましょう。具体的な検索の方法については図書館員にたずねたり、ガイダンスに参加して確認してください。自分の研究のために、ぜひ積極的に利用しましょう!

《自宅から法政大学図書館のオンライン・データベースを利用するには》

オンライン・データベースの中で「自宅利用不可」の表示のあるもの以外は、大学内だけでなく、自宅のパソコン等、キャンパス外でも利用できますが、その際、VPN接続をする必要があります。VPN接続サービスの詳細については、「net2010ユーザー支援webサイト」(<http://net2010.hosei.ac.jp/>)を確認してください。

4 雑誌掲載論文の検索

研究成果が発表されるのは図書ではありません。学会誌や紀要などの定期刊行物にも多くの論文が発表されています。どのような定期刊行物にどのような論文が掲載されているかについては、NDL-OPACのほか、以下のデータベースで調べることができます。

サイニイ

CiNii Articles

国内最大級の雑誌・論文記事データベースです。NDL-OPACには入っていないものも含め学術雑誌や研究紀要に掲載された論文が検索でき、論文によっては本文そのものを読むこともできます。

magazineplus

これも雑誌論文記事のデータベースですが、NDL-OPACやCiNiiが学術文献を中心に収録しているのに対し、学術雑誌のみならず一般誌・業界誌や年報類、また論文集所収のものまで幅広く採録しているのが特徴です。

5 企業情報の検索

大学図書館のオンライン・データベースには企業情報等も豊富に収録されています。研究の資料としてももちろんですが、就職活動の際に気になる企業を調べてみるのも一つの手です。

日経テレコン21

企業名、本社所在地、資本金、従業員数などから企業の沿革や人事情報などを調べることができます。

東洋経済デジタル・コンテンツ・ライブラリー

「週刊東洋経済」「就職四季報」「会社四季報」などが検索・閲覧できます。

イーオーエル

eol

国内上場約3,400社の有価証券報告書や財務データを取得できるほか、アジアの上場企業約12,000社の概要を調べることもできます。わかりやすいインターフェースなので、初心者でも簡単に操作することができます。

日経NEEDS FinancialQUEST 2.0

日本経済新聞社のデータバンクに収録された国内企業の財務データや株価データをExcelファイル形式で一括ダウンロードすることができます。

マーゼント

MERGENT Online

世界の上場企業約38,500社の企業・財務情報やレポートを収録し、データをダウンロードできます。

6 文献管理ツール

「RefWorks」、「EndNote」、「Mendeley」などを使って、収集した文献情報を管理したり、参考文献リストを手早く作成したりすることができます。

I

法政大学図書館にない資料を手に入れるには…

法政大学各図書館のレファレンスカウンターを利用する

他大学等で所蔵している資料は、図書館間相互協力によって、レファレンスカウンターを通じ、図書の取り寄せや複写のサービスを受けることができます(有料)。直接、その図書館を訪問する場合は、紹介状を発行してくれます(一部のサービスについてはOPACよりオンライン申込もできます)。

法政大学各図書館に購入希望を出す

図書を購読してほしい時には、開架・閉架各カウンターで依頼することができます。また、OPACよりオンライン申込もできます。

山手線沿線私立大学図書館コンソーシアム加盟図書館を利用する

法政大学図書館は山手線沿線私立大学図書館コンソーシアムに加盟していますので、加盟図書館との相互サービスを受けることができます。加盟図書館を直接利用することが可能ですが、それぞれの図書館の利用規定をよく確認した上で利用しましょう。

国立国会図書館を利用する

「NDL-OPAC」で東京本館に所蔵されていることが確認できたら、直接、国立国会図書館に行くのも一つの方法です。満18歳以上なら誰でも利用できますが、利用の仕方に大学図書館や一般の図書館とは異なる点がありますので、注意してください。なお、国立国会図書館では個人への館外貸出は行っていません(制限はありますが、複写は可能です)。

COLUMN

インターネットの落とし穴

ここでは、学習のための情報収集以外のインターネット利用について考えてみましょう。

1. 就職活動におけるネットの利用の注意点

「誰でも絶対に内定が取れる極秘マニュアル!」のようなものを数万円で売りつけ、就活に悩む学生を騙すことが目的のサイトも横行しています。検索順位、フォロー数とフォロワー数の比率、Facebookにおける「いいね」の数などソーシャルにおける評価も指標となりえますが、必ずしも正しいものではありません。自分で判断できない場合には大学のキャリアセンターに問い合わせて下さい。

2. 買い物(ネット通販)での利用の注意点

信頼できる通販サイトを判断する、ひとつの目安として、Webアドレス(URL)が必ずhttps://で始まっているかや、安全性・プライバシー保護のための南京錠マークがあるかを確認する方法があります。この2点が確認できない場合には少なくとも信頼できるサイトとは言えません。また特定商取引法で、事業者の名称、住所、電話番号、代表者等の氏名が明記されることが義務付けられています。連絡先メールアドレスが無料で取得できるもの(GmailやYahoo!メールなど)であることはほとんどありません。また、クレジットカード番号などの個人情報の入力ができるだけ避けるようにし、どうしても使用の必要性がある場合には、セキュリティ保護があるかどうか十分に注意しましょう。

学生生活支援Q&A

大学生活で、「こんなときどこに行けば教えてもらえるのだろうか?」と疑問に思ったら、まずは以下のページを参考に探してみてください。

※(共通)…どのキャンパスの学生でも、こちらの窓口で受けつけます。

Q. 学生生活や人間関係について相談したい。

キャンパス	施設名 / 場所	各窓口からひとこと紹介	問い合わせ先
市ヶ谷	学生相談室	学生相談室は、大学生活で直面する問題について皆さんと共に考え、「次の一歩」につながる支援をしています。専門のカウンセラーが対応しますので秘密は守られます。一人で悩まず、まずは相談してみてください。	03-3264-9493
	富士見坂校舎4階		
多摩	学生相談室	※毎月1回、弁護士による法律相談(無料)も行っています。 http://www.hosei.ac.jp/campuslife/kenko_sodan/gakusei/index.html	042-783-2158
	総合棟2階		
小金井	学生相談室		042-387-6050
	管理棟4階		

Q. 障がいのある友人の力になりたい。

キャンパス	施設名 / 場所	各窓口からひとこと紹介	問い合わせ先
市ヶ谷	障がい学生支援室	障がいのある学生が皆同じように講義を受講できるようにするための「講義保障」を中心に、社会へ出るための自立をサポートしています。これらの活動は、学生ボランティアによって支えられており、障がい学生と支援学生の双方が成長できるコミュニティを目指しています。	03-3264-6718
	58年館1階		
多摩	障がい学生支援室	http://www.hosei.ac.jp/campuslife/support/shienshitsu.html	042-783-4038
	総合棟2階		
小金井	障がい学生支援室		042-387-6050
	管理棟4階		

Q. セクハラ・アカハラについて相談したい。

キャンパス	施設名 / 場所	各窓口からひとこと紹介	問い合わせ先
市ヶ谷 ※(共通)	ハラスメント相談室	専門相談員(臨床心理士)がお話を伺い、一緒に問題の解決方法を考えます。また申立て手続きのサポートもいたします。一人で来るのが不安なら、家族や信頼できる友人、教職員等と一緒に来室することもできます。相談者のプライバシーは守られますので、安心してご相談ください。 http://www.hosei.ac.jp/gaiyo/torikumi/harassment/index.html 他キャンパスにも出張します。	03-3264-4409 stopharass@hosei.ac.jp

Q. 空き時間にスキルアップをはかりたい。

キャンパス	施設名 / 場所	各窓口からひとこと紹介	問い合わせ先
市ヶ谷 ※(共通)	学習ステーション	学習ステーション(通称Lステ)は学生・職員・教員の協働による学習サポート空間です。新入生サポート活動や、教員による30分一本勝負のLステゼミ、職員と対話する職員トーク、学生同士が学び合う学生プロジェクト、学生目標を取り入れた各種プロジェクトを実施しています。所属学部に関係なくどのキャンパスの学生も参加可能です。	03-3264-9072 http://peernet.hosei.ac.jp/lsation/
	富士見坂校舎2階		

Q. 海外の大学に留学したい。

キャンパス	施設名 / 場所	各窓口からひとこと紹介	問い合わせ先
市ヶ谷	グローバル教育センター事務部 国際交流課	本学には、「法政大学派遣留学制度」、「認定海外留学制度」などの留学制度があります。詳しくは、グローバル教育センター国際交流課窓口にご相談いただくか、「海外留学の手引き」をご覧ください。学部独自の留学制度については各学部窓口、またはグローバル教育センターSA課までご相談ください。 http://www.global.hosei.ac.jp/	03-3264-9662
	58年館2階		
多摩	グローバル教育センター事務部 国際交流課(多摩)		042-783-2130
	総合棟地下1階		
小金井	国際交流支援室		042-387-7018
	管理棟3階		

Q. 就職活動について相談したい。

キャンパス	施設名 / 場所	各窓口からひとこと紹介	問い合わせ先
市ヶ谷	キャリアセンター	3キャンパスで展開するキャリア就職支援行事をはじめ、個別相談では、専任スタッフ以外にもキャリアアドバイザーといった様々な経験をもつスタッフが、学年や内容に応じた対応をしています。 http://www.hosei.ac.jp/careercenter/index.html	03-3264-9604
	外濠校舎2階		
多摩	キャリアセンター		042-783-2173
	総合棟2階		
小金井	キャリアセンター		042-387-6045
	管理棟2階		

Q. 奨学金制度を利用したい。

キャンパス	施設名 / 場所	各窓口からひとこと紹介	問い合わせ先
市ヶ谷	学生センター厚生課	本学で扱っている奨学金には、法政大学独自の奨学金、日本学生支援機構・民間奨学財団・地方公共団体等の奨学金があります。募集に関しては、奨学金関係掲示板やホームページ等でこまめに確認してください。特に4月上旬には、多くの奨学金の募集があります。	03-3264-9486
	外濠校舎1階		
多摩	学生センター多摩学生生活課	http://www.hosei.ac.jp/campuslife/shogaku/index.html	042-783-2151
	EGG DOME2階		
小金井	学生センター小金井学生生活課		042-387-6011
	管理棟2階		

Q. 映像等をみることができ施設を知りたい。

キャンパス	施設名 / 場所	各窓口からひとこと紹介	問い合わせ先
市ヶ谷	ヒア・ラーニングスペース	英語をはじめ、諸外国語の学習の場としてご利用ください。 ●開室時間/平日9:00～21:00、土曜9:00～17:00 ●日・祝 休館	03-3264-4061
	ポアソナード・タワー3階		
多 摩	フリーラボルーム	映像授業で使用している語学教材の利用や名作映画を視聴することができます。(持ち込みは禁止) ●利用時間/9:00～16:30	042-783-2123
	総合棟2階		
		図書館内視聴覚室	映像資料を視聴できる場所があります。 ●座席数/20席 ●開室時間/平日9:00～21:00、土曜9:00～18:00、日曜10:00～17:00(開館日程の詳細は、図書館HPで確認してください。)
	3号館(図書館・研究所棟)2階		
小金井	図書館メディアライブラリー	●座席数/30席(グループ席有り) ●開室時間/平日10:30～18:30	042-387-6057
	南館3階		

※窓口の時間等については、時期により変更となる場合がありますので、掲示やHP等での通知には注意してください。

※(共通)…どのキャンパスの学生でも、こちらの窓口で受けつけます。

Q. ボランティア活動に参加してみたい。

キャンパス	施設名 / 場所	各窓口からひとこと紹介	問い合わせ先
市ヶ谷	市ヶ谷ボランティアセンター /外濠校舎1階	大学には、ボランティア活動をサポートする「ボランティアセンター」という組織があります。学生のみならずボランティア活動をするとは、世のため人のためだけでなく、自分自身が成長する「きっかけ」にもなります。	03-3264-9516
多摩	多摩ボランティアセンター /EGG DOME2階	また、ボランティアセンターには「学生スタッフ制度」を設けています。興味のある方は、ボランティアセンターまでご相談ください。	042-783-2073
小金井	小金井ボランティアセンター /管理棟2階 学生生活課内	http://www.hosei.ac.jp/volunteer/index.html	042-387-6041

Q. 多摩キャンパスでの地域交流に参加してみたい。

キャンパス	施設名 / 場所	各窓口からひとこと紹介	問い合わせ先
多摩 ※(共通)	多摩地域交流センター /総合棟2階	多摩キャンパスの近隣地域をフィールドに、地域での取組みや、課題解決に参加すること、また地域活性化に関する活動を自ら企画・立案・運営することもできます。そのような活動を通して、自分自身の成長やキャリアを身につけたい方、社会貢献に興味のある方など気軽にお立ち寄りください。	042-783-3014
		http://hucc.hosei.ac.jp/	

Q. 英会話のスキルアップをはかりたい、英語の学習方法について相談したい。

キャンパス	施設名 / 場所	各窓口からひとこと紹介	問い合わせ先
市ヶ谷	55年館1階	外国語コミュニケーション空間として「Qラウンジ (Global Lounge)」を3キャンパスに展開しています。キャンパス内にいながらにして、ネイティブスピーカーとの日常的なコミュニケーションの機会を持つことができ、より実践的な語学力を身に付けることができます。	03-3264-4502
多摩	大教室A棟2階 (総合棟地下1階書籍購買部・タマエもん向かい)	また、ERP (英語強化プログラム) の窓口になっています。英語学習に関心のある方は、気軽に立ち寄りください。	042-783-3018
小金井	管理棟4階	http://www.global.hosei.ac.jp/	042-387-6281

Q. 博物館・美術館キャンパスメンバーズって何ですか。

法政大学では、東京国立博物館キャンパスメンバーズ、国立美術館キャンパスメンバーズに加入しています。学生証を提示することにより、東京国立博物館、東京国立近代美術館、国立西洋美術館、国立新美術館で観覧料無料・割引などの特典が受けられます。ぜひ積極的に活用してみてください。

http://www.hosei.ac.jp/campuslife/support/campus_members/index.html

エントリーしなければ、何も始まらないよね！

今年こそやってみよう！

あなたも挑戦してみよう！ 法政大学のコンテスト・奨励制度

※(共通)…どのキャンパスの学生でも、こちらの窓口で受けつけます。

法政大学懸賞論文

キャンパス	施設名 / 場所	各窓口からひとこと紹介	問い合わせ先
市ヶ谷 ※(共通)	学務部教学企画課 富士見坂校舎5階	法政大学懸賞論文は、学部生および通信教育部に在籍の学生が対象です。例年、6～7月頃に募集要項を公示しています。審査後、入賞者および入選者には賞状と賞金が贈られます。募集の詳細や過去の優秀論文は、HPからご覧いただけますので、みなさん奮って応募ください。	03-3264-9303
		http://www.hosei.ac.jp/campuslife/katsudo/kensho/index.html	

FD学生の声コンクール

キャンパス	施設名 / 場所	各窓口からひとこと紹介	問い合わせ先
市ヶ谷 ※(共通)	学務部教育支援課 富士見坂校舎5階	教育の質を向上させるための組織的な取り組みである本学のFD (Faculty Development) 活動に学生の声を生かすため、毎年テーマを設定して作品を募集しています。2016年度の作品募集テーマは、以下のとおりです。応募詳細は、2016年7月頃にお知らせします。 テーマ:「出会い」and/or「教室」 上記のキーワードからひとつまたはふたつを選択して、授業に関するエピソードを作品にしてください(形式は自由。ただし、A4用紙1枚とします)。	03-3264-4285
		http://www.hoseikyoku.jp/fd/	

デジタルコンテンツ・コンテスト

キャンパス	施設名 / 場所	各窓口からひとこと紹介	問い合わせ先
市ヶ谷 ※(共通)	学務部教学企画課 富士見坂校舎5階	デジタルコンテンツ・コンテストは、デジタル技術を駆使した作品のコンテストです。「静止画」「動画」「インタラクティブ」「vine」の4部門で作品を募集します(応募締切:例年10月中旬)。募集要項や過去の入賞作品は、ホームページで公開していますので、ぜひご覧ください。	digicon@hosei.ac.jp ※問い合わせは、メールでお願いします。学生来訪窓口は設けていません。

開かれた法政21「学術・文化奨励金」

キャンパス	施設名 / 場所	各窓口からひとこと紹介	問い合わせ先
市ヶ谷 ※(共通)	学生センター事務室 外濠校舎1階	この制度は、学術・研究活動・芸術・芸能等の分野で、学外機関によるコンテスト・大会・懸賞論文等で特に秀でた成果を挙げ、受賞・表彰を受けた個人や団体に対して1名(1団体)につき最大30万円まで給付します。毎年11月に申請書を提出し、20名を限度に受給対象者を決定します。成績優秀者も表彰しています。	03-3264-9476

留学生日本語スピーチコンテスト

キャンパス	施設名 / 場所	各窓口からひとこと紹介	問い合わせ先
市ヶ谷	グローバル教育センター事務部 国際交流課 58年館2階	スピーチコンテストは、法政大学国際学生交流会が主催し、1982年より開催しています。出場する外国人留学生は、日本人学生のサポーターとペアを組み、競い合います。このスピーチコンテストは、互いの価値観を理解し合い、交流を深める素晴らしい機会となっています。	03-3264-5475
多摩	グローバル教育センター事務部 国際交流課(多摩) 総合棟地下1階	http://www.global.hosei.ac.jp/	042-783-2130
小金井	国際交流支援室 管理棟3階		042-387-7018

学びて思はざればすなはち罔く^く

いくら勉強したって、自分の頭で考えなきゃダメなんだ

學而不思則罔
思而不學則殆

思ひて学ばざればすなはち殆^{あやふ}し

いくら自分の頭で考えたって、勉強しなきゃダメなんだ

大内兵衛元総長の筆による論語の一節(市ヶ谷キャンパス55年館1階)

法政大学 学習支援ハンドブック2016

HOSEI UNIVERSITY
MAKING THE MOST OF YOUR UNIVERSITY EDUCATION 2016

編集・発行：法政大学 教育開発支援機構FD推進センター
〒102-8160 東京都千代田区富士見2-17-1
発行年月日：2016年4月1日

無断転載を禁ず



外濠の向こうに見える戦前の市ヶ谷キャンパス